

基準3 教員及び教育支援者等

資料3-1-①-1

学科等の名称	専任教員					計	基準数	助手	非常勤教員
	教授	准教授	講師	助教	計				
准学士課程（一般科目担当）	11人	4人	3人	3人	21人	—	0人	22人	
教養教育科									
計	11	4	3	3	21	22	0	22	
※別地校地を有する学科等の名称、学級数	専任教員					複数の校地において教育を行う専任教員			
〇〇学科 (〇〇キャンパス) (△△キャンパス)	人	人	人	人	人	人	人	人	
〇〇学科 (〇〇キャンパス) (△△キャンパス)									
准学士課程（専門科目担当）	5人	3人	0人	2人	10人	—	0人	13人	
機械工学科	4	4	1	2	11	—	0	2	
電気情報工学科	5	1	0	3	9	—	0	3	
電子制御工学科	4	4	0	3	11	—	0	4	
物質工学科	4	4	0	3	11	—	0	13	
建築学科						41	0	0	
計	5	3	0	2	10	41	0	0	
※別地校地を有する学科等の名称、学級数	専任教員					複数の校地において教育を行う専任教員			
〇〇学科 (〇〇キャンパス) (△△キャンパス)	人	人	人	人	人	人	人	人	
〇〇学科 (〇〇キャンパス) (△△キャンパス)									
教員以外の職員等	専任					非常勤			
事務職員（うち主に教育支援者）	29 ( 11 ) 人					22 ( 19 ) 人			
技術職員（うち主に教育支援者）	13 ( 13 )					2 ( 2 )			
図書館専門的職員（うち図書館関係保有者）	0 ( 0 )					1 ( 1 )			
その他の職員	0					3			
計	42					28			
計	51 ( 30 ) 人					15 ( 15 )			
計	1 ( 1 )					1 ( 1 )			
計	3					3			
計	70					70			

(正典 現況表)

## 資料3-1-①-2

## 平成26年度 一般科目分野別・職位別教員数

	数学	英語	独語	中国語	韓国語	国語	生物	物理	化学	社会	体育	音楽	合計
教授	1	3	0	0	0	1	0	2	0	2	2	0	11
准教授	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4
講師	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
助教	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
常勤計	4	5	0	0	0	3	0	3	0	3	3	0	21
専門学科教員	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	7
非常勤教員	4	4	1	1	1	4	1	1	1	1	2	1	22
合計	8	9	1	1	1	7	2	4	7	4	5	1	50

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

## 資料3-1-①-3

## 平成26年度 一般科目開設単位数

	数学	英語	独語	韓国語・中国語	国語	生物	物理	化学	社会	体育	音楽	合計
準学士課程 開設単位数	82	97	17	4	53	2	43	23	46	50	10	427
専攻科課程 開設単位数	2	6	0	0	2	0	2	2	2	2	0	18

## 平成26年度 一般科目担当教員の学位・教職歴経験等

	数学	英語	独語	中国語	韓国語	国語	生物	物理	化学	社会	体育	音楽	合計
教員数	8	9	1	1	1	7	2	4	7	4	5	1	50
博士	5	1	0	1	0	3	1	4	5	1	3	0	24
修士	0	3	1	0	0	1	1	0	1	2	0	0	9
企業経験者	1	3	0	1	1	2	1	1	1	1	1	0	13
中・高教職 経験者	6	8	0	0	1	5	1	1	1	3	3	1	30

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 米子工業高等専門学校非常勤講師の採用に関する内規

(趣旨)

第1条 米子工業高等専門学校(以下「本校」という。)における非常勤講師の採用に関しては、独立行政法人国立高等専門学校機構非常勤教職員就業規則(平成16年4月1日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第11号)の定めによるほかこの内規の定めるところによる。

(採用基準)

第2条 本校の非常勤講師となることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 高等専門学校設置基準(昭和36年文部省令第23号)に定められた講師の資格を有する者
- (2) 本校の教育方針に沿った教育指導ができる者
- (3) 採用年度末の年齢が満68歳以下である者
- (4) 健康で勤務に支障のない者

2 前項第3号の規定にかかわらず、他に余人をもって替え難い等特別の理由があると校長が認めた場合は、採用年度末の年齢を満69歳以下である者とする事ができる。

(選考)

第3条 非常勤講師の採用は、選考により行うものとし、その方法は、次の各号に定めるところによる。

(1) 選考は、次の者をもって行うものとする。

- ア 校長
- イ 校長補佐(教務)
- ウ 校長補佐(教務)以外の校長補佐 1名
- エ 当該学科長等
- オ 当該学科長等以外の学科長等 1名
- カ 当該学科等の教授 1名
- キ 当該学科等以外の学科等の教授 1名
- ク その他校長が必要と認めた者

(2) 選考に当たっては、米子工業高等専門学校教員選考基準別紙1に掲げる業績等を総合的に評価するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、継続して採用する者については、運営会議に諮り、前年度の教育評価(学生による授業評価等)をもとに選考するものとする。

3 本校教員を退職後に引き続き非常勤講師として採用する場合は、前項の規定に準じて取り扱うものとする。

(高年齢者雇用の理由書の提出)

第4条 当該学科長等は、採用年度末の年齢が満64歳以上となる者を採用しようとする場合は、選考に先立ち「高年齢者雇用の理由書」を校長に提出し、承認を得なければならない。

(特例)

第5条 特別の事情により、この内規により難しい場合は、校長は、運営会議に諮り別段の取扱いをすることができる。

(出典 規則集)

資料3-1-①-5

## 一般科目担当教員の専門分野と担当授業

## 教養教育科専任教員

職名 (担当分野)	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の 担当授業科目	専攻科課程の 担当授業科目	他機関での教職経験、 実務経験などの状況
教授 (体育)	池本幸雄	博士(学術) 小学校教諭2級普通免許(保健) 中学校教諭1級普通免許(保健体育・保健) 高等学校教諭2級普通免許(保健体育・保健)	発育発達学 体力科学	保健体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ・Ⅴ		公立学校教員10年
教授 (物理)	川邊博	博士(理学)	素粒子論	物理Ⅱ 応用物理Ⅱ	現代物理	
教授 (数学)	倉田久靖	博士(理学)	函数論	代数・幾何 数学Ⅰ 微分・積分 解析Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
教授 (英語)	酒井康宏	文学士 中学校教諭1級普通免許(英語) 高等学校教諭2級普通免許(英語)	英米文学	英語総合Ⅰ 基礎英語演習Ⅰ・Ⅱ 英米文学	コミュニケーション 特論	日本テレビ放送網株 公立学校教員6年
教授 (物理)	竹内彰継	博士(理学) 中学校教諭1級普通免許(理科) 高等学校教諭2級普通免許(理科)	宇宙物理学 太陽物理学 電磁流体力学	応用物理 応用物理Ⅰ・Ⅱ		
教授 (英語)	中井大造	言語学修士 中学校教諭1級普通免許(英語) 高等学校教諭2級普通免許(英語)	英語教育 コミュニケーション	英語総合Ⅱ 基礎英語演習Ⅲ 実用工業英語		公立学校教員5月
教授 (国語)	永井猛	博士(文学) 小学校教諭2級普通免許 中学校教諭1級普通免許(国語) 高等学校教諭1級普通免許(国語)	日本中世文学 能楽研究	国語Ⅰ・Ⅱ 文学Ⅱ		公立学校教員8年
教授 (社会)	布施圭司	修士(文学) 中学校教諭1級普通免許(社会) 高等学校教諭2級普通免許(社会)	宗教哲学 宗教学	現代社会 社会科学Ⅱ	人文社会特論	私立大学等非常勤講師2年
教授 (体育)	南雅樹	博士(学術) 小学校教諭専修免許 中学校教諭専修免許(保健体育) 高等学校教諭専修免許(保健体育)	健康体力学 発育発達学 測定評価	保健体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ・Ⅴ	健康科学特論	(財)金沢市スポーツ事業団 11月勤務 私立大学等非常勤講師9年

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 一般科目担当教員の専門分野と担当授業

## 教養教育科専任教員

職名 (担当分野)	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の 担当授業科目	専攻科課程の 担当授業科目	他機関での教職経験、 実務経験などの状況
教授 (英語)	森田 典幸	文学士 中学校教諭1級普通免許(英語) 高等学校教諭2級普通免許(英語)	ヨーロッパ語系文学	英語総合演習 英語総合Ⅲ		公立学校教員7年
教授 (社会)	山藤 良治	文学士 中学校教諭1級普通免許(社会) 高等学校教諭2級普通免許(社会)	日本近世史	歴史Ⅰ 社会科学Ⅰ	人文社会特論	私立学校等講師5年
准教授 (数学)	大庭 経示	博士(理学) 中学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭専修免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(数学)	離散数学 グラフ理論	数学Ⅱ 代数・幾何 解析Ⅰ・Ⅱ	応用数学特論	公・私立学校等等非常勤講師6年
准教授 (社会)	加藤 博和	博士(経営情報学) 高等学校教諭専修免許状(公民) 高等学校教諭一種免許状(公民)	交通論 地域政策論 大学・高等教育論	地理 社会科学Ⅲ	人文社会特論	公・私立学校非常勤講師9年 庄原商工会議所(常勤)3年1月勤務
准教授 (英語)	中島 美智子	博士(学術) 中学校教諭専修免許状(外国語(英語)) 高等学校教諭専修免許状(外国語(英語))	アメリカ文学 エコクリティシズム	英語総合演習 英語総合Ⅲ	上級英語演習	公立学校非常勤講師2年
准教授 (国語)	松崎 安子	博士(文学) 中学校教諭専修免許状(国語) 高等学校教諭専修免許状(国語)	日本語学	国語Ⅰ・Ⅱ 文学Ⅳ	日本語表現法	私立学校・大学等等非常勤講師7年

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 一般科目担当教員の専門分野と担当授業

## 教養教育科専任教員

職名 (担当分野)	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の 担当授業科目	専攻科課程の 担当授業科目	他機関での教職経歴、 実務経験などの状況
講師 (体育)	大野 政人	博士(医学) 中学校教諭一種免許状(理科) 高等学校教諭一種免許状(理科)	運動生理学	保健体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	健康科学特論	私立大学非常勤講師 1年
講師 (物理)	小林 玉青	博士(理学)	量子力学基礎 素粒子論	物理Ⅰ・Ⅱ		国立大学・高専等非常勤講師 4年
講師 (英語)	早水 英美	修士(文学) 中学校教諭専修免許状(英語) 高等学校教諭専修免許状(英語)	アメリカ文学	英語総合Ⅰ 基礎英語演習Ⅰ・Ⅱ		高専非常勤講師 2年 県立高校常勤講師 1年
助教 (数学)	古清水 大直	博士(理学) 高等学校教諭専修免許状(数学)	関数解析学	解析Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 微分・積分		私立高校等非常勤講師 1年
助教 (国語)	長福 香菜	博士(文学) 中学校教諭専修免許状(国語) 高等学校教諭専修免許状(国語)	日本近世文学	国語Ⅰ・Ⅱ		私立大学非常勤講師 1年 国立高等専門学校 1年7月
助教 (数学)	堀畑 佳宏	博士(理学) 高等学校教諭一種免許状(数学)	数学基礎論	解析Ⅰ 微分・積分 代数・幾何		国立大学非常勤講師半年 私立大学非常勤講師 3年 高専非常勤講師 2年

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 資料3-1-①-5

## 一般科目担当教員の専門分野と担当授業

## 非常勤講師

担当分野	氏名	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目
数学	小枝晃子	数学	数学Ⅱ	
数学	浦木 勇	物理学、数学	数学Ⅰ・代数・幾何	
数学	小浪吉史	数学	解析Ⅰ・Ⅱ	
数学	石本雅敏	数学	数学Ⅰ	
英語	バーナード	英語会話	基礎英語会話Ⅲ	
英語	フランク・ハートン・4世	英語会話	基礎英語会話Ⅰ	
英語	山根アドリアナ	英語会話	基礎英語会話Ⅱ、英語会話	
英語	能登路純子	英語教育・英文学	英語総合Ⅱ・基礎英語演習Ⅲ	
独語	洪山昌雄	ドイツ語、倫理学	ドイツ語、技術者倫理(専門科目)	
中国語	叶 玉紅	中国語	中国語	
韓国語	権 文香	韓国語	韓国語	
国語	生田 眞	国語	国語Ⅲ	
国語	中永廣樹	国語	国語Ⅲ、文学Ⅰ・Ⅲ	
国語	永田俊樹	英米文学	日本語教育Ⅰ	
国語	笹間政典	日本語教育	日本事情、日本語教育Ⅱ・Ⅲ	
物理・生物	亀山道宏	生命科学	物理Ⅰ、生物学	
化学	八幡清一郎	化学	化学Ⅰ・Ⅱ	
社会	中原道宣	歴史	歴史Ⅱ	
体育	宮崎浩樹	保健・体育	保健体育Ⅰ	
体育	定光真理子	保健・体育	保健体育Ⅰ・Ⅱ	
音楽	柏木美千代	音楽	音楽Ⅰ・Ⅱ	

## 専門科目常勤教員

職名 (担当分野)	氏名	学位・技術資格など	専門分野	一般科目の担当授業科目	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授 (化学)	竹中 敦司	博士(理学) 高等学校教諭1級普通免許 (工業) 高等学校教諭2級普通免許 (理科)	無機化学	基礎化学	
教授 (化学)	藤井 雄三	博士(農学)	生物有機化学 天然物化学 微生物化学	化学Ⅰ、Ⅱ	
准教授 (化学)	穂間 由幸	博士(理学) 中学校教諭専修免許状(理科) 高等学校教諭専修免許状 (理科)	天然物有機化学 有機合成化学 食品機能科学	化学Ⅰ、Ⅱ	非常勤講師(府立高等専門学校)
准教授 (化学)	田中 晋	博士(理学)	物理化学 磁気共鳴 固体電解質	化学Ⅰ、Ⅱ	
准教授 (化学)	谷 藤 尚 貴	博士(学術)	有機化学 光化学	化学Ⅰ	(株)豊田中央研究所先端研究センター 1年勤務
准教授 (生物)	田原 麻里 (休職中)	農学修士	植物生理学 細胞工学 培養工学	生物学	(株)ポッカコーポレーション 2年勤務
助教 (化学)	藤井 貴敏	修士(工学)	環境工学 化学工学	化学Ⅱ	

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 資料3-1-②-1

## 平成26年度 専門学科・職位別教員数

	機械	電気情報	電子制御	物質	建築	合計
教授	5	4	5	4	4	22
准教授	3	4	1	5	4	17
講師	0	1	1	0	0	2
助教	2	2	3	3	3	13
助手	0	0	0	0	0	0
常勤計	10	11	10	12	11	54
非常勤教員	13	2	3	4	13	35
合計	23	13	13	16	24	89

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 資料3-1-②-2

## 平成26年度 専門学科教員の学位・実務経験等

	機械	電気情報	電子制御	物質	建築	合計
常勤教員数	10	11	10	12	11	54
博士	9	10	6	8	7	40
修士	1	0	2	4	3	10
企業経験者	4	5	5	3	8	25
非常勤職員数	13	2	3	4	13	35
博士	1	0	1	2	0	4
修士	0	0	0	0	2	2
企業経験者 (企業在職者を含む)	12	2	2	4	13	33

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 資料3-1-②-3

## 専門担当教員の専門分野と担当授業

## 機械工学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究はH25年度担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	大塚 茂	博士(工学)	機素潤滑 流体工学	機械設計法 設計製図Ⅱ	知的財産権特論 トライボロジー・軸受特論 特別研究	松下電器産業(株) 17年勤務
教授	松本 至	博士(工学)	制御工学	制御工学 応用情報処理 図形情報ワークショップⅡ	システム制御特論 品質管理工学 特別研究	日本電気(株) 5年6月勤務
教授	森田 慎一	博士(工学) 高等学校教諭専修免許状(工業) 二級ボイラー技士 二級建築士	熱工学 伝熱工学	熱工学 工業熱力学 工業英語 エネルギー機械	熱・物質移動論 特別研究	サンウエーブ工業(株) 13年勤務
教授	矢壁 正樹	博士(工学)	非破壊検査	機械振動学 材料力学Ⅰ・Ⅲ 情報リテラシ 機械工学実験実習Ⅲ 設計製図Ⅱ	弾塑性力学 特別研究	
教授	山口 顕司	博士(工学)	機械加工 生産加工	機械工作法 工業力学 機械工学実験実習	生産・精密加工学 特別研究	
准教授	大塚 宏一	博士(工学)	トライボロジー メカトロニクス	メカトロニクス 機構学 計測工学 基礎製図Ⅱ アクチュエータ工学	トライボロジー・軸受特論 創造実験 特別研究	九州産業大学工学部実習助手(常勤) 3年勤務
准教授	権田 岳	博士(工学) 技術士補(機械部門)	材料力学 弾性力学	材料力学Ⅱ 基礎製図Ⅰ 図形情報ワークショップⅡ 機械工学実験実習Ⅲ	一般工業力学 弾塑性力学 特別研究	(株)粟村製作所 1年9月勤務 (株)鶴見製作所 2年3月勤務
准教授	早水 庸隆	博士(工学) 高等学校教諭専修免許状(工業)	流体工学	流体力学 水力学 機械工学実験実習Ⅰ・Ⅱ 設計製図Ⅱ エネルギー機械 ものづくりワークショップ	流体力学特論 特別研究	
助教	原 圭介	博士(工学) 高等学校教諭一種免許状(工業) 中学校教諭専修免許状(技術) 中学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(数学)	機械材料 材料力学	設計製図Ⅰ 機械材料学Ⅰ・Ⅱ 材料工学	材料強度・材料組織学	非常勤講師(中学校・高等学校) 3年6月勤務 常勤講師(高等学校) 2年勤務
助教	藤田 剛	修士(工学) 高等学校教諭一種免許状(工業)	機械加工 切削加工	機械工学演習Ⅰ・Ⅱ 基礎製図Ⅱ ものづくりワークショップ 機械工学実験実習		

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 資料 3-1-②-3

## 専門担当教員の専門分野と担当授業

## 機械工学科非常勤講師

職名	氏名	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目
非常勤講師	幸本俊一	生産システム工学	生産システム工学	
非常勤講師	布野隆	機械設計	設計製図Ⅲ	
非常勤講師	西本弘之	ビジネスマネジメント	機械工学セミナー	
非常勤講師	永井宏一郎	生産技術	機械工学セミナー	
非常勤講師	岩永幸夫	生産技術	機械工学セミナー	
非常勤講師	生田真也	生産管理	機械工学セミナー	
非常勤講師	坂東直樹	生産管理	機械工学セミナー	
非常勤講師	齋本厚史	生産技術	機械工学セミナー	
非常勤講師	松田真二	品質管理	機械工学セミナー	
非常勤講師	周海	振動工学	機械動力学	
非常勤講師	足立新治	メカトロニクス、生産設計	基礎電気電子工学	
非常勤講師	雑賀憲昭	電子デバイス、光生体工学	応用数学Ⅰ	
非常勤講師	田辺義博	知的財産権		知的財産権特論

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

資料 3 - 1 - ② - 3

専門担当教員の専門分野と担当授業

電気情報工学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究は H25 年度担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	新田 陽一	工学博士	音響計測 信号処理	信号処理 電気回路 I デジタル回路 電気情報応用実験 II	音響振動工学 特別研究	日本電産(株) 1年6月勤務
教授	松原 孝史	博士(工学) 高等学校教諭2級普通 免許(工業)(岡山県教育 委員会)	高電圧工学 磁界解析 電力潮流解析	電力工学 電気機器 I 電気情報応用実験 II エネルギー変換工学 高電圧工学	応用電磁工学 特別研究	
教授	松本 正己	博士(工学)	計算機科学 情報ネットワーク シミュレーション工学	コンピュータ工学 制御工学 電気情報応用実験 II 情報ネットワーク工学 ソフトウェア工学	情報技術特論 社会技術論 応用ソフトウェ ア開発 特別研究	
教授	宮田 仁志	博士(工学) 第二種電気工事士免状 第三種電気主任技術者 免状 CompTIA CTT+ (Classroom Trainer)	ソフトコンピューティング パワーエレクトロニクス	電気機器 II 電気情報基礎実験 III 電気情報応用実験 I 電気機器設計	知的制御シス テム 創造実験 特別研究	
准教授	浅倉 邦彦	博士(工学)	ナノエレクトロニクス	プログラミング II 電気数学 電気情報基礎実験 I・ II 電気回路 III 電子デバイス II	量子電子工学 回路網理論 特別研究	北海道職業能力開発大学校 非常勤講師 6 月勤務 (株)ATR 環境適応通信研究所(現:(株)ATR) 客員研究員 2月勤務 北海道工業大学 非常勤講師 1年6月勤務 北海道大学電子科学研究所 リサーチ・アシ スタント 1年7月勤務
准教授	権田 英功	博士(工学) 高等学校教諭1種免許 (工業) 高等学校教諭専修免許 状(工業)	ソフトコンピューティング 通信工学	通信工学 電気磁気学 I・III 電気情報基礎実験 II 数値計算工学	ソフトコンピ ューティング 特別研究	
准教授	庄倉 克彦	工学士	電子工学	電子デバイス I 電気情報基礎実験 III 電気情報応用実験 I 情報処理 情報通信法規 電子回路 II		テイアック(株) 9年2月勤務 ユニカ(株) 1年10月勤務
准教授	田中 博美	博士(工学) 高等学校教諭専修免許 状(工業)	酸化物電子材料開発 分析科学	電気磁気学 II 電気情報基礎実験 I・ III プログラミング I 電気材料	特別研究	日本学術振興会特別研究員 3年勤務
講師	奥雲 正樹	博士(工学)	超音波計測 音響工学 ロボット工学	応用数学 応用数学 I・II 工業数学 I・II	特別研究	(株)舞鶴計器 1年7月勤務
助教	石倉 規雄	博士(工学)	パワーエレクトロニクス	パワーエレクトロニクス 電気情報基礎実験 II・ III 電気情報応用実験 I 電気機器設計		横河電機(株) 4年勤務
助教	松岡 祐介	博士(工学)	非線形回路工学	電気回路 II 電子回路 I 電気情報応用実験 I 電子回路設計	アナログ電子 回路	

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

資料3-1-②-3

## 専門担当教員の専門分野と担当授業

## 電気情報工学科非常勤講師

職名	氏名	専門分野	准学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目
非常勤講師	井口美香	コンピュータ教育	情報リテラシ	
非常勤講師	森田輝顕	電気工学	電気製図、電気設計Ⅰ・Ⅱ、電気法規	

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 資料3-1-②-3

## 専門担当教員の専門分野と担当授業

## 電子制御工学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究は H25 年度 担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	青柳 敏	工学士 第1種情報処理技術者 (通商産業大臣)	コンピュータと教育	情報処理Ⅰ・Ⅱ 計算機概論 工学実験実習Ⅰ・Ⅳ ソフトウェア工学		日立ソフトウェアエンジニアリング(株) 10年 2月勤務
教授	香川 律	工学修士	計測・制御	機械運動学 材料力学Ⅰ 工学実験実習Ⅳ・Ⅴ 機械運動学 電子制御設計	計算機システム工学	
教授	河野 清尊	博士(工学) 高等学校教諭1級普通免許(工業) 第1種情報処理技術者 マイクロコンピュータ応用 システム開発技術者初級	ブライント信号処理 情報ネットワーク 計算機工学	計算機工学Ⅰ・Ⅱ 電子制御基礎 情報リテラシ 工学実験実習Ⅴ	創造実験、デジタル 信号処理 特別研究	松下電器産業(株) 7年勤務
教授	能登路 淳	工学士	電磁気学 磁気工学	電磁気学Ⅱ 工学実験実習Ⅰ・Ⅲ 電子計測 パルス回路設計 工業数学	社会技術論、応用計 測工学	三菱化成工業(株) 7年勤務 リコーマイクロエレクトロニクス(株) 2年7月 勤務 鳥取三洋電機(株) 3年2月勤務
教授	山本 英樹	博士(工学) 第4級アマチュア無線技 士 第2種情報処理技術者	電子デバイス	電気回路Ⅰ・Ⅱ 電磁気学Ⅰ デジタル回路Ⅱ 工学実験実習Ⅲ・Ⅳ	特別研究	三菱電機エンジニアリング(株) 3年勤務
准教授	中山 繁生	博士(情報工学)	ロボット工学 制御工学	ロボット制御工学 工学実験実習Ⅱ・Ⅴ 機械設計法 自動制御	ロボット工学 特別研究	
講師	井上 学 (在外研究中)	博士(情報工学)	デジタル信号処理 HDL 設計	電子回路Ⅰ・Ⅱ 電子制御基礎 情報リテラシ 工学実験実習Ⅲ・Ⅳ マイコン制御		
助教	角田 直輝	博士(工学)	半導体工学 ナノエレクトロニク ス 薄膜結晶成長	電子デバイス 工学実験実習Ⅲ 電子物性	固体物性論	
助教	徳光 政弘	博士(工学) 第3級アマチュア無線技 士 第1級陸上特殊無線技士 応用情報技術者 工事担任者 デジタル第 Ⅲ種	自律分散システム コンピュータネット ワーク センサーネットワ ーク	情報伝送 デジタル回路Ⅰ 工学実験実習Ⅴ	通信ネットワーク特 論	日本学術振興会特別研究員 2年勤務
助教	原田 篤	修士(工学) 基本情報技術者	知能情報処理 ロボット工学	設計製図 材料力学Ⅱ 工学実験実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ		富士発條(株) 7月勤務

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

資料 3-1-②-3

## 専門担当教員の専門分野と担当授業

## 電子制御工学科非常勤講師

職名	氏名	専門分野	准学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目
非常勤講師	雑賀憲昭	電子デバイス、光生体工学	応用数学 I、電気電子材料	
非常勤講師	板見 正	電気通信工学、知的財産	システム工学	
非常勤講師	村側博康	熱流体工学	基礎製図、熱流体工学概論	

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 資料3-1-②-3

## 専門担当教員の専門分野と担当授業

## 物質工学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究は H25 年度 担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	青木 薫	博士(理学)	無機材料化学	物質工学実験Ⅱ 物理化学Ⅱ 環境科学	セラミックス 特別研究	非常勤講師(島根大学)3年勤務
教授	小田 耕平	博士(工学) 特別管理産業廃棄物管理 責任者	無機材料化学	材料プロセス工学 無機化学基礎 無機材料	材料デザイン工学 材料化学 特別研究	
教授	竹中 敦司	博士(理学) 高等学校教諭1級普通免 許(工業) 高等学校教諭2級普通免 許(理科) 甲種危険物取扱者	無機化学	無機化学Ⅰ・Ⅱ 物質工学基礎実験	無機工業化学 特別研究	
教授	藤井 雄三	博士(農学)	生物有機化学 天然物化学 微生物化学	微生物学基礎 生化学・微生物学基礎実 験 応用微生物学	微生物工学 特別研究	
准教授	榎間 由幸	博士(理学) 中学校教諭専修免許状 (理科) 高等学校教諭専修免許状 (理科)	天然物有機化学 有機合成化学 食品機能科学	有機化学基礎 有機化学基礎実験 情報科学Ⅱ	生物機能材料 特別研究	非常勤講師(府立高等専門学校)
准教授	小川 和郎	博士(工学) 乙種第4類危険物取扱者 衛生工学衛生管理者	高分子化学	高分子化学 物質工学実験Ⅰ 有機材料	高分子合成化学 特別研究	
准教授	田中 晋	博士(理学) 中学校教諭一種免許状 (理科) 高等学校教諭一種免許 状(理科)	物理化学 磁気共鳴 固体電解質	物理化学基礎 物理化学Ⅰ 情報工学Ⅱ	基礎材料科学 特別研究	
准教授	谷藤 尚貴	博士(学術)	有機化学 光化学	物質工学創造実習 分析化学Ⅱ 有機化学Ⅰ・Ⅱ	機能性材料 特別研究	(株)豊田中央研究所先端研究センター 1年 勤務
准教授	田原 麻里 (休職中)	農学修士	植物生理学 細胞工学 培養工学	分子生物学 細胞工学	バイオテクノロジー	(株)ポッカコーポレーション 2年勤務

助教	伊達 勇介	修士(工学) エックス線作業主任者	分析化学 環境技術・環境 材料 無機材料科学	分析化学 I 分析化学基礎実験 分析化学基礎	環境分析化学 物質工学特別実験	鳥取県産業技術センター(研究員) 6年勤務
助教	藤井 貴敏	修士(工学)	環境工学 化学工学	化学工学 I・II 物質工学実験 I	化学反応工学	
助教	村田 和加恵	修士(理学)	生化学 微生物学	生化学基礎 物質工学実験 I 酸素化学 生化学 I	タンパク質工学	

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

資料 3-1-②-3

専門担当教員の専門分野と担当授業

物質工学科非常勤講師

職名	氏名	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目
非常勤講師	森田輝顕	電気工学	電気工学概論	
非常勤講師	足森雅己	機械工学	生産工学、機械工学概論	
非常勤講師	井口美香	コンピュータ教育	情報科学 I、情報リテラシ	
非常勤講師	亀山道宏	生命科学	生化学 II	バイオテクノロジー

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 資料 3-1-②-3

## 専門担当教員の専門分野と担当授業

## 建築学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究は H25 年度 担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	稲田 祐二	博士(工学) 構造設計一級建築士	建築構造	構造力学Ⅲ 構造計画 設計製図Ⅰ	耐震構造論 特別研究	(株)山下設計 8 年勤務
教授	熊谷 昌彦	工学博士 一級建築士	建築計画	建築計画 設計製図Ⅴ	創造設計実習 特別研究	東京工芸大学 3 年勤務 広島工業大学 1 年勤務
教授	玉井 孝幸	博士(工学) 一級建築士	建築材料 建築施工	建築材料 建築生産 基礎構造	建築生産特論 特別研究	(株)新井組 13 年 6 月勤務 建築材料公的試験所 2 年 1 月勤務 調査技術コンサル設立 4 年 5 月経営
教授	山田 祐司	工学学士 一級建築士	建築構造	建築情報Ⅰ 構造力学Ⅰ 木質構造		
准教授	高増 佳子	修士(生活科学) 一級建築士	建築デザイン	デザイン基礎Ⅱ 設計製図Ⅲ 近代建築論	建築設計製図	(株)乃村工芸社 2 年 11 月勤務
准教授	西川 賢治	修士(工学)	建築デザイン	デザイン基礎Ⅲ 設計製図Ⅳ 近代建築論	情報デザイン論	(株)佐々木設計事務所 3 年勤務
准教授	細田 智久	博士(工学) 一級建築士	建築計画 都市計画	設計製図Ⅱ 都市計画Ⅰ 建築意匠論	創造設計実習 特別研究	(株)伊藤建築設計事務所 1 年 5 月勤務 豊橋技術科学大学 8 年 7 月勤務
准教授	前原 勝樹	博士(工学) 一級建築士	建築環境 建築設備	建築環境 建築設備 創造実験・演習	建築・都市環境論 特別研究	大高建設(株) 7 年 10 月勤務
助教	小椋 弘佳	修士(工学)	都市計画 建築デザイン	都市計画Ⅱ 設計製図Ⅳ CAD・CG		坂本昭・設計工房 CASA(建築設計事務所) 9 月勤務
助教	北農 幸生	博士(工学) 一級建築士 高等学校教諭(専修免 許状)	建築構造	構造力学Ⅱ 構造解析 設計製図Ⅴ	構造解析学特論 構造制御論	高松高専 1.5 年勤務
助教	金澤 雄記	博士(工学)	建築史	建築史 設計製図Ⅴ 創造実験・演習	保存再生論 地域居住空間計画	長野県飯田市歴史研究所 5 年勤務

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

資料3-1-②-3

## 専門担当教員の専門分野と担当授業

## 建築学科非常勤講師

職名	氏名	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目
非常勤講師	江角俊則	建築設計	設計製図Ⅳ	
非常勤講師	門脇 昇	建築構造設計	設計製図Ⅴ	
非常勤講師	木谷清人	建築設備設計	設計製図Ⅴ	
非常勤講師	杵村優一郎	建築設計	設計製図Ⅱ、設計製図Ⅲ	
非常勤講師	来間直樹	建築設計	設計製図Ⅱ	
非常勤講師	白枝 伸	建築設計	設計製図Ⅲ	
非常勤講師	嶽川安和	建築工事管理	建築生産	
非常勤講師	田中正夫	建築設計	設計製図Ⅲ	
非常勤講師	野口登志雄	建築設計	創造実験・演習	
非常勤講師	馬庭和志	建築構造設計	鋼構造	
非常勤講師	米田秀哉	建築行政	都市計画Ⅱ(法規)	
非常勤講師	山内英樹	建築工事管理	建築生産	
非常勤講師	山根秀明	建築設計	設計製図Ⅳ	

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

資料3-1-③-1

## 平成26年度専攻科担当教員数

専攻名	生産システム工学専攻			物質工学専攻	建築学専攻	教養教育科	合計
	機械系	電気情報系	電子制御系				
学生定員(2学年)	24			8	8		40
常勤教員	9	9	7	12	9	10	56
博士	9	9	5	8	7	6	44
非常勤教員	1	0	0	1	0	0	2
博士	0	0	0	1	0	0	1

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料, 総務課人事労務係資料)

## 平成 23 年度第 1 回専攻科委員会議事要旨

1. 日 時 平成 23 年 4 月 14 日 (木) 15:50～16:15
2. 場 所 小会議室
3. 出席者 竹中専攻科長, 山口副専攻科長, 藤井, 北農専攻科長補  
宮田, 雑賀, 大庭, 古杉学生課長の各委員

### 4. 議 題

#### 1) 平成 23 年度授業担当者について

専攻科長から資料をもとに一般科目(日本語表現法), 物質工学専攻(環境分析化学, 物質工学特別実験, タンパク質工学), 建築学専攻(建築・都市環境論, 特別研究)の授業担当者について説明があり審議の結果, 4名の授業担当について了承された。

(出典 平成23年4月14日 専攻科委員会議事要旨)

資料 3-1-③-3 特別研究指導教員リスト

特別研究指導教員リスト (平成 25 年度末時点)

機械工学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究は H25 年度担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	大塚 茂	博士(工学)	機軸潤滑 流体工学	機械設計法 設計製図Ⅱ	知的財産権特論 トライボロジー・軸受特論 特別研究	松下電器産業(株) 17 年勤務
教授	松本 至	博士(工学)	制御工学	制御工学 応用情報処理 図形情報ワークショップⅡ	システム制御特論 品質管理工学 特別研究	日本電気(株) 5 年 6 月勤務
教授	森田 慎一	博士(工学) 高等学校教諭専修免許状(工業) 二級ボイラー技士 二級建築士	熱工学 伝熱工学	熱工学 工業熱力学 工業英語 エネルギー機械	熱・物質移動論 特別研究	サンウエーブ工業(株) 13 年勤務
教授	矢壁 正樹	博士(工学)	非破壊検査	機械振動学 材料力学Ⅰ・Ⅲ 情報リテラシ 機械工学実験実習Ⅲ 設計製図Ⅱ	弾塑性力学 特別研究	
教授	山口 顕司	博士(工学)	機械加工 生産加工	機械工作法 工業力学 機械工学実験実習	生産・精密加工学 特別研究	
准教授	大塚 宏一	博士(工学)	トライボロジー メカトロニクス	メカトロニクス 機構学 計測工学 基礎製図Ⅱ アクチュエータ工学	トライボロジー・軸受特論 創造実験 特別研究	九州産業大学工学部実習助手(常勤) 3 年勤務
准教授	権田 岳	博士(工学) 技術士補(機械部門)	材料力学 弾性力学	材料力学Ⅱ 基礎製図Ⅰ 図形情報ワークショップⅡ 機械工学実験実習Ⅲ	一般工業力学 弾塑性力学 特別研究	(株)粟村製作所 1 年 9 月勤務 (株)鶴見製作所 2 年 3 月勤務
准教授	早水 庸隆	博士(工学) 高等学校教諭専修免許状(工業)	流体工学	流体力学 水力学 機械工学実験実習Ⅰ・Ⅱ 設計製図Ⅱ エネルギー機械 ものづくりワークショップ	流体力学特論 特別研究	

電気情報工学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究は H25 年度担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	新田 陽一	工学博士	音響計測 信号処理	信号処理 電気回路Ⅰ ディジタル回路 電気情報応用実験Ⅱ	音響振動工学 特別研究	日本電産(株) 1 年 6 月勤務
教授	松原 孝史	博士(工学) 高等学校教諭2級普通免許(工業)(岡山県教育委員会)	高電圧工学 磁界解析 電力潮流解析	電力工学 電気機器Ⅰ 電気情報応用実験Ⅱ エネルギー変換工学 高電圧工学	応用電磁工学 特別研究	
教授	松本 正己	博士(工学)	計算機科学 情報ネットワーク シミュレーション工学	コンピュータ工学 制御工学 電気情報応用実験Ⅱ 情報ネットワーク工学 ソフトウェア工学	情報技術特論 社会技術論 応用ソフトウェア開発 特別研究	
教授	宮田 仁志	博士(工学) 第二種電気工事士免状 第三種電気主任技術者免状 CompTIA CTT+ (Classroom Trainer)	ソフトコンピューティング パワーエレクトロニクス	電気機器Ⅱ 電気情報基礎実験Ⅲ 電気情報応用実験Ⅰ 電気機器設計	知的制御システム 創造実験 特別研究	
准教授	浅倉 邦彦	博士(工学)	ナノエレクトロニクス	プログラミングⅡ 電気数学 電気情報基礎実験Ⅰ・Ⅱ 電気回路Ⅲ 電子デバイスⅡ	量子電子工学 回路網理論 特別研究	北海道職業能力開発大学校 非常勤講師 6 月勤務 (株)ATR 環境適応通信研究所(現:(株)ATR) 客員研究員 2 月勤務 北海道工業大学 非常勤講師 1 年 6 月勤務 北海道大学電子科学研究所 リサーチ・アシスタント 1 年 7 月勤務
准教授	権田 英功	博士(工学) 高等学校教諭1種免許(工業) 高等学校教諭専修免許状(工業)	ソフトコンピューティング 通信工学	通信工学 電気磁気学Ⅰ・Ⅲ 電気情報基礎実験Ⅱ 数値計算工学	ソフトコンピューティング 特別研究	
准教授	田中 博美	博士(工学) 高等学校教諭専修免許状(工業)	酸化物電子材料開発 分析科学	電気磁気学Ⅱ 電気情報基礎実験Ⅰ・Ⅲ プログラミングⅠ 電気材料	特別研究	日本学術振興会特別研究員 3 年勤務
講師	奥雲 正樹	博士(工学)	超音波計測 音響工学 ロボット工学	応用数学 応用数学Ⅰ・Ⅱ 工業数学Ⅰ・Ⅱ	特別研究	(株)舞鶴計器 1 年 7 月勤務

(出典 専攻科資料)

資料 3 - 1 - ③ - 3 特別研究指導教員リスト

特別研究指導教員リスト (平成 25 年度末時点)

電子制御工学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究は H25 年度担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	河野 清 尊	博士(工学) 高等学校教諭1級普通免許(工業) 第1種情報処理技術者 マイクロコンピュータ応用システム開発技術者初級	ブライント信号処理 情報ネットワーク 計算機工学	計算機工学Ⅰ・Ⅱ 電子制御基礎 情報リテラシ 工学実験実習Ⅴ	創造実験、デジタル信号処理 特別研究	松下電器産業(株) 7年勤務
教授	山本 英 樹	博士(工学) 第4級アマチュア無線技士 第2種情報処理技術者	電子デバイス	電気回路Ⅰ・Ⅱ 電磁気学Ⅰ ディジタル回路Ⅱ 工学実験実習Ⅲ・Ⅳ	特別研究	三菱電機エンジニアリング(株) 3年勤務
准教授	中山 繁 生	博士(情報工学)	ロボット工学 制御工学	ロボット制御工学 工学実験実習Ⅱ・Ⅴ 機械設計法 自動制御	ロボット工学 特別研究	
講師	井上 学	博士(情報工学)	ディジタル信号処理 HDL設計	電子回路Ⅰ・Ⅱ 電子制御基礎 情報リテラシ 工学実験実習Ⅲ・Ⅳ マイコン制御	特別研究	

物質工学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究は H25 年度担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	青木 薫	博士(理学)	無機材料化学	物質工学実験Ⅱ 物理化学Ⅱ 環境科学	セラミックス 特別研究	非常勤講師(島根大学)3年勤務
教授	小田 耕 平	博士(工学) 特別管理産業廃棄物管理責任者	無機材料化学	材料プロセス工学 無機化学基礎 無機材料	材料デザイン工学 材料化学 特別研究	
教授	竹中 敦 司	博士(理学) 高等学校教諭1級普通免許(工業) 高等学校教諭2級普通免許(理科) 甲種危険物取扱者	無機化学	無機化学Ⅰ・Ⅱ 物質工学基礎実験	無機工業化学 特別研究	
教授	藤井 雄 三	博士(農学)	生物有機化学 天然物化学 微生物化学	微生物学基礎 生化学・微生物学基礎実験 応用微生物学	微生物工学 特別研究	
准教授	櫻間 由 幸	博士(理学) 中学校教諭専修免許状(理科) 高等学校教諭専修免許状(理科)	天然物有機化学 有機合成化学 食品機能科学	有機化学基礎 有機化学基礎実験 情報科学Ⅱ	生物機能材料 特別研究	非常勤講師(府立高等専門学校)
准教授	小川 和 郎	博士(工学) 乙種第4類危険物取扱者 衛生工学衛生管理者	高分子化学	高分子化学 物質工学実験Ⅰ 有機材料	高分子合成化学 特別研究	
准教授	田中 晋	博士(理学) 中学校教諭一種免許状(理科) 高等学校教諭一種免許状(理科)	物理化学 磁気共鳴 固体電解質	物理化学基礎 物理化学Ⅰ 情報工学Ⅱ	基礎材料科学 特別研究	
准教授	谷藤 尚 貴	博士(学術)	有機化学 光化学	物質工学創造実習 分析化学Ⅱ 有機化学Ⅰ・Ⅱ	機能性材料 特別研究	(株)豊田中央研究所先端研究センター 1年勤務

建築学科専任教員

職名	氏名	学位・技術資格など	専門分野	準学士課程の担当授業科目	専攻科課程の担当授業科目 (特別研究は H25 年度担当)	他機関での教職経験、実務経験などの状況
教授	稲田 祐 二	博士(工学) 構造設計一級建築士	建築構造	構造力学Ⅲ 構造計画 設計製図Ⅰ	耐震構造論 特別研究	(株)山下設計 8年勤務
教授	熊谷 昌 彦	工学博士 一級建築士	建築計画	建築計画 設計製図Ⅴ	創造設計実習 特別研究	東京工芸大学 3年勤務 広島工業大学 1年勤務
教授	玉井 孝 幸	博士(工学) 一級建築士	建築材料 建築施工	建築材料 建築生産 基礎構造	建築生産特論 特別研究	(株)新井組 13年6月勤務 建築材料公的試験所 2年1月勤務 調査技術コンサル設立 4年5月経営
准教授	細田 智 久	博士(工学) 一級建築士	建築計画 都市計画	設計製図Ⅱ 都市計画Ⅰ 建築意匠論	創造設計実習 特別研究	(株)伊藤建築設計事務所 1年5月勤務 豊橋技術科学大学 8年7月勤務
准教授	前原 勝 樹	博士(工学) 一級建築士	建築環境 建築設備	建築環境 建築設備 創造実験・演習	建築・都市環境論 特別研究	大高建設(株) 7年10月勤務

(出典 専攻科資料)

資料3-1-④-1

平成26年度 常勤教員の年齢構成

	20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	60歳以上	合計
機械工学科	1	3	3	3	0	10
電気情報工学科	1	3	3	2	2	11
電子制御工学科	2	2	2	3	1	10
物質工学科	2 (1)	2	5	2 (1)	1	12 (2)
建築学科	1 (1)	3	4 (1)	1	2	11 (2)
教養教育科	1	9 (5)	2	6	3	21 (5)
合計	8 (2)	22 (5)	19 (1)	17 (1)	9	75 (9)

( ) 内は女性教員数

(出展 総務課人事労務係資料)

資料3-1-④-2

学生数における女子学生数

在籍学生数

平成26年 4月 4日現在  
( ) 女子の内数 【 】 留学生の内数

学年/学科	M	E	D	C	A	計
1	権田岳 45 (1)	大庭 40	中井 41 (5)	松崎 43 (19)	酒井 43 (21)	212 (46)
2	倉田 40 (2)	小林 41 (10)	池本 41 (4)	谷藤 40 (25)	山田 44 (20)	206 (61)
3	大野 48 (4)	松原 46 (5)	堀畑 43 (2)	小田 【谷藤】 【村田】 43 (21)	西川 【山田】 【玉井】 39 (20)	219 (52)
4	早水庸 【松本至】 43	奥雲 36 (7)	青柳 35 (3)	榎間 【伊達】 41 (18)	高増 【北農】 【高増】 32 (16)	187 (44)
5	矢壁 【原】 39	庄倉 42 (4)	能登路 37 (8)	青木 【小川】 38 (20)	前原 36 (16)	192 (48)
計	215 (7)	205 (26)	197 (22)	205 (103)	194 (93)	1,016 (251)

(専攻科)

年次/専攻	生産システム工学専攻	物質工学専攻	建築学専攻	計
1	12	3	6 (4)	21 (4)
2	14	5 (1)	7 (2)	26 (3)
計	26	8 (1)	13 (6)	47 (7)

17

教員会議  
26.4.2  
資料 11

(出展 平成26年4月2日 教員会議資料)

## 寮生数における女子寮生数

(4) 平成26年度寮生数

## ・新入寮生

新1年生 男子51名, 女子18名 ← 平成25年度は男子32名, 女子25名

留学生 男子2名, 女子2名

編入学生 男子5名, 女子0名

専攻科生 男子2名, 女子0名

・男子寮生: 189名 (うち 留学生6名, 専攻科生2名) ← 平成25年度4月に比べて2名増

女子寮生: 87名 (うち 留学生4名) ← 7名増

総数: 276名 ← 9名増

・学科, 学年, 男女別人数は以下の通り 男子(うち留学生)/女子(うち留学生数)

	M	E	D	C	A	合計	新入寮生
1年	13/0	13/0	12/0	5/7	9/12	52/19	51/18
2年	3/0	6/5	6/0	5/10	6/8	26/23	
3年	14/0	3/2	8/1	4(1)/6(1)	8(1)/9(1)	37(2)/18(2)	2/2
4年	12(1)/0	9/1	5/0	6/7(1)	7(1)/3(1)	39(2)/11(2)	5/0
5年	9(1)/0	6/0	8/3	3(1)/5	7/8	33(2)/16	
小計	51(2)/0	37/8	39/4	23(2)/35(2)	37(2)/40(2)	187(6)/87(4)	
専1	0/0	0/0	0/0	1/0	1/0	2/0	2/0
専2	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	
					合計	189(6)/87(4)	

(出展 平成26年4月2日 教員会議資料)



## 資料 3 - 1 - ④ - 5

平成22年2月4日

## 人 事 異 動

発令日付	事 項	氏 名	職 名
22. 2. 4	育児休業 (平成23年2月28日まで)	高増 佳子	准教授 (建築学科)

平成22年2月16日

## 人 事 異 動

発令日付	事 項	新 職 名 等	氏 名	前 職 名 等
22. 2. 16	採用 (23. 2. 28まで)	講 師 (建築学科)	白枝 伸	

(出典 総務課人事労務係資料)

## 資料 3 - 1 - ④ - 6

## 教員選考規則

## 米子工業高等専門学校教員選考規則

(趣旨)

第1条 この規則は、米子工業高等専門学校における教授、准教授、講師及び助教（以下「教員」という。）の選考に関し必要な事項について定める。

(定義)

第2条 この規則において選考とは、教員を採用、昇任又は配置換するために行う選考をいう。

(公募の原則)

第3条 選考は、原則として公募とする。ただし、昇任及び配置換の場合は、公募によらず選考できるものとする。

(選考委員会)

第4条 校長は、教員の選考を行う場合は、米子工業高等専門学校教員選考委員会（以下「委員会」という。）を設置するものとする。

2 委員会に関し必要な事項は別に定める。

(選考の申し出)

第5条 各学科又は教養教育科（以下「各学科等」という。）の長（以下「各学科長等」という。）は、各学科等の教員の定年による退職に伴い教員の補充等を行う必要がある場合は、当該退職年度当初に校長に申し出るものとする。

2 前項のほか、各学科等において教員の選考を行う必要がある場合は、各学科長等は速やかに校長に申し出るものとする。

(選考)

第6条 教員の選考は、委員会の議を経て校長が行う。

(事務)

第7条 教員の選考に係る事務は、総務課において処理する。

(出典 規則集)

## 教員選考基準

## 米子工業高等専門学校教員選考基準

平成16年4月1日  
校長 裁定  
平成19年4月1日  
一部 改訂  
平成20年4月1日  
一部 改訂

米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）における教授、准教授、講師及び助教（以下「教員」という。）の選考については、高等専門学校設置基準（昭和36年8月30日文部省令第23号）に定める教員の資格基準によるほか、次の基準に基づいて選考を行う。

- 1 公募による選考の場合は、公募の条件、選考対象候補者の人物及び別紙1に掲げる業績等を総合的に評価して選考する。
- 2 昇任による選考の場合は、選考対象候補者の人物、学科・科目の教員の年齢構成、別紙2に掲げる業績等を総合的に評価して選考する。

## 別紙1

公募による選考については概ね次の業績を考慮する。

- 1 企業・研究機関・官公庁等からの応募の場合は、次に掲げる研究・開発等の業績があること。
  - (1) 製品開発・製法開発等職務上の業績
  - (2) 特許等研究上の成果・表彰
  - (3) 著書・研究論文発表
  - (4) 大学等との共同研究による研究業績
  - (5) 社会貢献活動
- 2 教育機関からの応募の場合は、次に掲げる教育・研究等の実績があること。
  - (1) 教育・研究指導実績
  - (2) 著書・研究論文・学会発表
  - (3) 内地・在外研究員等留学実績
  - (4) 特許・実用新案
  - (5) 校務分掌実績
  - (6) 課外活動指導実績
  - (7) 共同研究・受託研究等の実績
  - (8) 公開講座・技術指導等の地域協力及び社会貢献活動

## 別紙2

内部昇任については概ね次の業績を考慮する。

## 1 教授への昇任

准教授在任中に、次に掲げる業績があること。

- (1) 授業、実験実習、研究指導等において優れた教育実績があること。
- (2) 次の区分に応じた研究実績があること。
  - ① 教育・実務重視の教授
    - ・ 高専の教育についての審査論文があり、他に研究報告又は特許・実用新案が相当数以上あること。
  - ② 研究業績重視の教授
    - ・ 継続的な研究成果があること。
    - ・ 学会等の審査論文が相当数以上あること。
- (3) 総務、教務、学生、寮務、専攻科、図書館情報センター及び地域共同テクノセンターのいずれかの校務を分掌したこと。
- (4) 担任、クラブ顧問等、学生指導において優れた実績があること。
- (5) 社会貢献活動において優れた実績があること。

## 2 准教授への昇任

助教から昇任する場合は採用後、講師から昇任する場合は講師在任中に、次に掲げる業績があること。

- (1) 授業、実験実習、研究指導等において優れた教育実績があること。
- (2) 学会等の審査論文が相当数以上あり継続的な学会活動を行っていること。
- (3) 担任、クラブ顧問等、学生指導において優れた実績があること。
- (4) 講師から昇任する場合は、総務、教務、学生、寮務、専攻科、図書館情報センター及び地域共同テクノセンターのいずれかの校務を分掌したこと。
- (5) 社会貢献活動において優れた実績があること。

## 3 講師への昇任

採用後において、次に掲げる業績があること。

- (1) 授業、実験実習、研究指導等において、講師以上の教員への補助を十分に行っていること。
- (2) 審査論文を有しているか、口頭発表等継続的な学会活動を行っていること。
- (3) クラブ顧問等、学生指導において優れた実績があること。
- (4) 社会貢献活動において優れた実績があること。

(出典 規則集)

## 教員公募の例

## 国立米子工業高等専門学校 教養教育科教員（国語）公募要項

1. 職名・人員 講師又は助教 1名
2. 所 属 教養教育科
3. 専 門 分 野 国語（国文学，国語学，漢文学，国語教育学 等）
4. 担当予定授業科目 国語（1年～3年），文学（4年選択），日本語表現法（専攻科）
5. 応 募 資 格
  - （1）修士以上の学位を取得している方
  - （2）着任時35歳未満の方（改正雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号のイの適用により，長期勤続によるキャリア形成を図るため）
  - （3）高等専門学校の教育・研究及び学生指導（クラブ活動も含む）に熱意のある方
  - （4）国語教員の教員免許を取得している方が望ましい
6. 採用予定日 平成26年4月1日
7. 応 募 書 類
  - （1）履歴書（様式1）
  - （2）教育研究業績書（様式2-1）
  - （3）主要論文の別刷3編（コピー可）とその要約（様式3）
  - （4）現在の研究分野と研究内容の概要（様式4）
  - （5）着任後の抱負（様式5）

※様式は本校HP（採用情報）からダウンロードしてください  
 URL：[http://www.yonago-k.ac.jp/category\\_lst.php?sid=401](http://www.yonago-k.ac.jp/category_lst.php?sid=401)
8. 応 募 期 限 平成25年7月31日（水） 必着
9. 採用決定方法
 

1次選考：書類審査（平成25年9月上旬までに合否を応募者に連絡します。）  
 2次選考：面接審査・模擬授業（1次選考合格者に対して実施日時をお知らせします。なお，2次選考に伴う旅費，宿泊費は応募者負担とします。）
10. 書類送付先 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4-4-8  
 国立米子工業高等専門学校 総務課人事労務係 TEL 0859-24-5006  
 （封筒に「教養教育科教員応募書類」と朱書きの上，簡易書留またはレターパックで郵送のこと）
11. 問い合わせ先 国立米子工業高等専門学校 教養教育科・国語科主任 原 豊二  
 （TEL 0859-24-5072 E-mail：[hara@yonago-k.ac.jp](mailto:hara@yonago-k.ac.jp)）

※応募者から取得する個人情報は，米子工業高等専門学校の教員選考のために使用するものであり，その他の目的には使用しません。

※本校は男女共同参画を推進しており，業績（教育業績・研究業績・社会貢献・人物等）の評価において，同等との能力を有すると認められた場合は，女性を積極的に採用します。

（出典 総務課人事労務係資料）

## 資料 3-1-④-8 任期制教員に関する規則

**独立行政法人国立高等専門学校機構における期間を定めて  
雇用される常勤の教職員の範囲に関する規則**

独立行政法人国立高等専門学校機構規則第 7 4 号

制定 平成 19 年 4 月 1 日

一部改正 平成 23 年 3 月 30 日

一部改正 平成 25 年 7 月 29 日

**(目的)**

**第 1 条** この規則は、独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「機構」という。）に期間を定めて雇用される常勤の教職員の範囲について定めることを目的とする。

**(期間を定めて雇用される常勤の教職員の範囲)**

**第 2 条** 期間を定めて雇用される常勤の教職員は、次の各号に定めるものとする。

- 一 再雇用教職員（独立行政法人国立高等専門学校機構教職員再雇用規則（機構規則第 2 4 号）第 2 条に規定するフルタイム勤務教職員をいう。）
- 二 臨時雇用教職員（次に掲げる教職員）
  - ア 独立行政法人国立高等専門学校機構教職員退職規則（機構規則第 1 8 号）第 2 条第 2 項の規定に基づき、雇用される常勤の教職員
  - イ 休業（独立行政法人国立高等専門学校機構教職員の労働時間、休暇等に関する規則（機構規則第 9 号。以下「教職員労働時間等規則」という。）第 2 6 条及び独立行政法人国立高等専門学校機構船員の労働時間、休暇等に関する規則（機構規則第 1 0 号。以下「船員労働時間等規則」という。）第 2 4 条に規定する育児休業、教職員労働時間等規則第 2 7 条及び船員労働時間等規則第 2 5 条に規定する介護休業又は教職員労働時間等規則第 2 8 条及び船員労働時間等規則第 2 6 条に規定する自己啓発等休業をいう。）をしている教職員の職を補充するために雇用される常勤の教職員
  - ウ 教職員労働時間等規則第 2 4 条第 1 項第六号、同条同項第七号、船員労働時間等規則第 2 2 条第 1 項第六号又は同条同項第七号の規定による特別休暇を使用している女性教職員の業務を代行させるために雇用される常勤の教職員
  - エ 独立行政法人国立高等専門学校機構教職員就業規則（機構規則第 6 号）第 1 6 条第 1 項第一号の規定による休職から復職した教職員で、独立行政法人国立高等専門学校機構教職員安全衛生管理規則（機構規則第 3 1 号）第 2 3 条の規定により労働を制限された教職員又は独立行政法人国立高等専門学校機構船員就業規則（機構規則第 7 号）第 1 7 条第 1 項第一号の規定による休職から復職した教職員で、独立行政法人国立高等専門学校機構船員安全衛生管理規則（機構規則第 3 2 号）第 2 2 条の規定により労働を制限された教職員の業務を補完するために雇用される常勤の教職員
  - オ 長期間にわたり通常の勤務場所から離れて研修に参加させる教職員、又は機構以外の機関で業務を行うために長期間にわたり当該機関に派遣させる教職員の業

資料 3 - 1 - ④ - 8 任期制教員に関する規則

務を代行させるために雇用される常勤の教職員

三 助教（博士の学位又は技術士等の資格及び相応の教育又は研究業績を有しないものに限る。）

四 外部資金等（国の競争的資金、寄付金、受託費その他これらに準ずる資金等をいう。）により雇用される常勤の教職員

五 学科の改編、国際化等、各国立高等専門学校が重点的に取り組むこととした課題に対応するために期間を定めて雇用される教職員として、理事長が認める常勤の教職員

六 予め期間が定められている業務に専ら従事させるため雇用される教職員（前各号に定める教職員を除く。）として、理事長が認める常勤の教職員

2 前項第三号及び第四号に定める教職員は、期間の定めがない教職員として雇用することを妨げない。

**附 則（平成 19 年 4 月 1 日制定）**

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則（平成 23 年 3 月 30 日一部改正）**

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則（平成 25 年 7 月 29 日一部改正）**

この規則は、平成 25 年 8 月 1 日から施行する。

資料3-1-④-8 任期制教員に関する面談資料

平成26年 3月11日

米子工業高等専門学校長 殿

所属 建築学科 助教  
氏名 小椋 弘佳



研究業績等について

労働契約期間（平成24年4月1日～平成26年3月31日）における研究業績等について、下記のとおり報告いたします。

記

○ 著書・論文

● 査読論文

- 小椋弘佳・細田智久・熊谷昌彦：秩父多摩甲斐国立公園御岳山山上集落における土地所有形態と住民意識からみた集落の特徴に関する研究。日本建築学会関東支部審査付き研究報告集 782(II), pp.93-96, 2012.5
- 細田智久・古安真紀子・小椋弘佳：安来市広瀬の歴史的町並み地区における居住環境と多世代居住例に関する考察 日本建築学会技術報告集, 第19巻第41号, pp.249-254, 2013.2
- 小椋弘佳・細田智久・熊谷昌彦・樋口秀：国立公園集団施設地区の利用・保護の取り組み実態とその課題に関する研究-環境省自然保護官の意識と人口分布からみた分析-, 日本建築学会計画系論文集, 2014, (審査中)

○ 口頭発表

- 小椋弘佳・細田智久・熊谷昌彦：国立公園内の山岳信仰集落における住民意識からみた課題に関する研究 大山隠岐国立公園大山寺地区と秩父多摩甲斐国立公園御岳山山上集落の比較, 日本都市計画四国支部都市計画研究講演集 10, pp.17-20, 2012.4
- 小椋弘佳・細田智久・熊谷昌彦・樋口秀：国立公園内の山岳信仰集落における住民意識からみた課題に関する研究 大山隠岐国立公園大山寺地区と秩父多摩甲斐国立公園御岳山山上集落の事例, 日本建築学会大会学術講演梗概集 都市計画, pp.177-178, 2012.9
- 小椋弘佳・細田智久・熊谷昌彦：国立公園内における土地所有形態と住民意識からみた課題に関する研究-環境省自然保護官の意識と人口分布からみた分析-, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第36巻, pp.779-782, 2013.3

(出典 総務課人事労務係資料)

## 資料3-1-④-8 任期制教員に関する面談資料

- ・○小椋弘佳・細田智久・熊谷昌彦・樋口秀 国立公園集団施設地区の整備状況と課題に関する研究, 日本都市計画学会中国四国支部都市計画研究講演集 11, pp.31-34, 2013.4
- ・○小椋弘佳・細田智久・熊谷昌彦・樋口秀: 集落維持の視点からみた国立公園制度上の課題 - 山岳信仰集落に着目して -, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第37巻, p.609-612, 2014.03
- ・○小椋弘佳・細田智久・熊谷昌彦・樋口秀 山岳信仰集落維持の視点からみた国立公園制度上の課題に関する研究 日本都市計画学会中国四国支部都市計画研究講演集 12, (2014.04 発表予定)

## ○ 研究業績

## ●外部資金

- ・助成名: 平成 25 年度「高専—長岡技科大 共同研究の推進」, 研究題目: 人口分布と土地所有実態からみた国立公園の山岳信仰集落の特徴と課題に関する研究, メンバー: 小椋弘佳 (代表者), 熊谷昌彦教授, 細田智久准教授, 樋口秀准教授 (長岡技科大)
- ・助成名: 平成 22-25 年度大山国立公園協会助成

## ○ 学位取得の現況報告

## ●研究ゼミ (学外)

- 平成 25 年 4 月 長岡技術科学大学大学院工学研究科 博士後期課程 社会人入学  
(エネルギー・環境工学専攻)  
※長岡技術科学大学樋口秀准教授による研究指導を受けている。

## ●研究ゼミ (学内)

- 平成 22 年度 4 月より隔週で, 米子高専熊谷昌彦教授と細田智久准教授による研究指導を受けている。

## ●今後の学位取得に係る計画及び取得見込み予定

- 平成 27 年度 長岡技術科学大学大学院工学研究科 博士後期課程卒業  
博士取得見込み (予定)

(出典 総務課人事労務係資料)

校務免除期間中の業績リスト

氏名 徳光 政弘 (電子制御工学科、助教)

校務免除期間 平成 25 年度

1) 査読論文

1. M. Tokumitsu and Y. Ishida, "A Space Weather Forecasting System with Multiple Satellites Based on a Self-Recognizing Network", *Sensors*, 13, 2014. (条件付き採択)

2. M. Tokumitsu and Y. Ishida, "Adaptive Strategies: A Novel Game-Theoretic Analysis for Autonomous Distributed Systems in Dynamic Environments", *International Journal of Innovative Computing, Information and Control*, Vol. 10, No.1, pp. 373-387, 2014. (論文の所属は豊橋技術科学大学、掲載決定は 2013 年 5 月 30 日)

2) 国際会議 (査読付)

1. M. Tokumitsu and Y. Ishida, "Diagram Visualization of Self-Recognizing Sensor Networks", *Proceedings of the International Workshop on Smart Info-Media Systems in Asia*, 2013. (SISA 2013)

外部資金 (審査付)

1. 公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団 平成 25 年度 出版助成 2013.

2. 平成 25 年度 豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト 「ネットワーク衛星デザイン「工房」のための連携教育フォーラム」, 役割: 共同研究者, 2013 年 4 月-2014 年 3 月.

3. 平成 25 年度 豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト 「ダイアグラム視覚化「道場」による連携教育・研究システム」, 役割: 共同研究者, 2013 年 4 月-2014 年 3 月.

校務免除期間中の業績リスト

氏名 古清水 大直 (教養教育科、助教)

校務免除期間 平成 25 年度

1) 査読論文

1. Hironao Koshimizu, Takeshi Miura, Hiroyuki Takagi, Sin-Ei Takahasi, "Real-linear isometries between subspaces of continuous functions ", *J. Math. Anal. Appl.*, 413 (2014), pp.229-241.

2. 小笹 航平、山根 映介、堀畑 佳宏、古清水 大直、"フィボナッチ型数列の周期"、日本数学教育学会 高専・大学部会論文誌 (高専生による数学研究シンポジウム報告 - 数学的モデリング、物理へのアプローチ)、Vol. 20 No.1 December 2013、pp.140-143.

2) 口頭発表

1. 小笹 航平、山根 映介、堀畑 佳宏、古清水 大直、"フィボナッチ型数列の周期"、高専数学教育シンポジウム、東京都立産業技術高等専門学校、2013.10.5.

2. Hironao Koshimizu, Takeshi Miura, Hiroyuki Takagi and Sin-Ei Takahasi, "Isometries between Function Spaces", *Complex Analysis and Applications '13, Bulgaria*, 2013.11.2.

3. 山根 映介、山尾 涼介、岩田 寛大、古清水 大直、"フィボナッチ型数列の周期性と線形代数"、第 19 回高専シンポジウム in 久留米、久留米高等専門学校、2014.1.25.

4. 高木 啓行、古清水 大直、"保存問題における関数空間上の等距離写像について"、山陰 基礎論・解析学セミナー 2014、米子工業高等専門学校、2014.2.1.

5) その他 (国際学会など)

1. Hironao Koshimizu, Takeshi Miura, Hiroyuki Takagi and Sin-Ei Takahasi, "ISOMETRIES BETWEEN FUNCTION SPACES", *Complex Analysis and Applications '13 (Proceedings of International Conference, Sofia, October 31-November 2, 2013)*, Institute of Mathematics and Informatics, Bulgarian Academy of Sciences, pp.154-158.

2. 小笹 航平、山根 映介、古清水 大直、倉田 久靖、"素数を法としたフィボナッチ型数列の周期"、"米子工業高等専門学校研究報告" 第 49 号、to appear.

(出典 企画部資料)

## 米子工業高等専門学校初任者研修【教科指導】

## 双方向授業研修実施要項

## 1. 目的

新任教員とベテラン教員が互いに授業を参観することで、新任教員の教科指導力の向上を図る。

## 2. 実施内容

- ① 新任教員は、昨年度授業評価アンケートで上位となった担当教員の授業を前後期各 1 回計 2 回見学する。
- ② 見学を受けた教員は、新任教員の授業を前後期各 1 回計 2 回参観する。
- ③ 見学および参観後に新任教員からの質問およびベテラン教員からのアドバイスをを行う。

## 3. 実施方法

- ① 担当教員は、担当する新任教員に自分の授業見学の案内を行う。
- ② 当該新任教員は、担当教員の授業を見学し、見学後「授業見学シート」に必要事項を記入しメール等で担当教員に送る。担当教員は、「授業見学シート」に回答など必要事項を記入し新任教員に返送する。
- ③ 新任教員は、②の後、担当教員に自分の授業参観の案内を行う。
- ④ 担当教員は、担当する新任教員の授業を参観し、参観後「授業参観シート」に必要事項を記入しメール等で担当する新任教員に送る。新任教員は、「授業参観シート」に必要事項を記入し担当教員に返送する。
- ⑤ 担当教員は、④の後、「授業見学シート」及び「授業参観シート」を副校長に送付する。

## 4. 対象新任教員および担当教員とそのペアリング

ペア No.	新任教員	担当教員	備考
1	一般科目 小林玉青	一般科目 竹内彰継	
2	電子制御工学科 角田直輝	電子制御工学科 中山繁生	
3	物質工学科 伊達勇介	物質工学科 竹中敦司	
4	物質工学科 村田和加恵	物質工学科 藤井雄三	
5	物質工学科 藤井貴敏	物質工学科 田中 晋	
6	一般科目 堀畑佳宏	一般科目 大庭経示	後期より

別紙 1 : 「授業見学シート」

別紙 2 : 「授業参観シート」

(出典 平成24年度初任者研修資料)

## 教育研究活性化経費配分資料

**(2)若手教員支援研究費(継続事項)**

教育研究の活性化を図るため、立ち上げ経費が不足していると思われる若手教員の教育研究活動の支援を行う。

**【配分方針】**

若手教員に対し、1人20万円を上限として配分する。  
申請者は、39歳未満の講師又は助教(長期海外渡航者を除く)とする。  
ただし、本校に採用後、3年目以降7年以内の者に限る。

**【配分方法】**

学科長を経由して申請書の提出のあった案件について、別に定める選考基準に基づき、運営会議メンバーが書類審査(必要に応じヒアリングを行う)を実施のうえ決定し、配分する。  
採択者は、必ず研究成果を学会等に報告すること。  
報告しなかった教員については、翌年度採択しない。

**4. 教育・研究特別支援経費(教育評価、研究評価による) 1,000千円****【趣旨】**

本校における教育・研究分野等において、顕著な業績をあげた教員に対して以下により配分する。  
ただし、非常勤講師は除く。

**【配分方針】****①教育分野特別支援経費**

- ア. 過去1年間に教育方法の改善等により、学会等から表彰を受けた教員に50千円を配分する。
- イ. 過去1年間に学生の教育指導について、顕著な業績があると校長が認めた教員に50千円を配分する。

**②研究分野特別支援経費**

- ア. 過去1年間に教育分野を除く研究により、学会等から表彰を受けた教員に50千円を配分する。
- イ. 過去1年間にファーストオーサー(代表執筆者)学術論文(査読付き)を投稿し、掲載許可を受けた教員に掲載に要した経費の50千円を上限として配分する。  
ただし、本校名が付された教員の論文に限る。
- ウ. 過去1年間において、特許を出願した教員に50千円を配分する。

**③その他**

配分に当たり、上記各項目の重複を妨げない。

**【配分方法】**

学科長を経由して申請書の提出のあった案件について、運営会議で審議のうえ決定し、配分する。  
ただし、上記①のイ.については、学生主事が推薦し、また、上記②のウ.については、担当部署に確認したそれぞれの案件について、運営会議で審議のうえ決定し、配分する。

(出典 総務課財務課資料)

資料3-1-④-12

平成25年度 研究費追加配分措置の表

【地域に根ざした特色ある研究経費】(配分上限:500千円)

(単位:円)

番号	氏名	所属学科等	申請額	配分額	摘要
1	早水 庸隆	機械工学科	500,000	500,000	テラー・ジェット流れ中における精子内イオン動態観測と機械的刺激との関連性
2	石倉 規雄	電気情報工学科	483,000	0	メガソーラー発電における電力変換システムの教材製作
3	加藤 博和	教養教育科	250,000	202,000	地域と連携した主権者教育プログラムの開発
	合計		1,233,000	702,000	

【新任・若手教員支援研究費】

(1)《新任教員支援研究費》(配分:本校に採用後2年以内の教員1名につき200千円)

(単位:円)

番号	氏名	所属学科等	採用年月	配分額	摘要
1	小林 玉青	教養教育科	平成24年4月	200,000	25.9.11 承認済み
2	角田 直輝	電子制御工学科	平成24年4月	200,000	25.9.11 承認済み
3	藤井 貴敏	物質工学科	平成24年4月	200,000	25.9.11 承認済み
4	堀畑 佳宏	教養教育科	平成24年10月	200,000	25.9.11 承認済み
5	石倉 規雄	電気情報工学科	平成25年4月	200,000	25.9.11 承認済み
6	徳光 政弘	電子制御工学科	平成25年4月	200,000	25.9.11 承認済み
7	金澤 雄記	建築学科	平成25年4月	200,000	25.9.11 承認済み
8	古清水大直	教養教育科	平成25年4月	200,000	25.9.11 承認済み
	合計			1,600,000	

(2)《若手教員支援研究費》(配分上限:1名につき200千円)

(単位:円)

番号	氏名	所属学科等	申請額	配分額	摘要
1	原 圭介	機械工学科	196,000	145,000	表面処理鋼板に添加されるコロイダルシリカ添加量と擬着力に関する研究
2	村田和加恵	物質工学科	200,000	180,000	発芽酵母の偽菌糸における細胞骨格の動態
3	伊達 勇介	物質工学科	195,000	0	呼吸診断用ガス検知デバイスの開発を指向した層状無機/発光性色素複合材料の創製
4	中川 右也	教養教育科	200,000	189,000	認知的アプローチを採用した実証的研究
5	大野 政人	教養教育科	167,365	132,000	股関節の内転・外転筋力に関する研究
6	小椋 弘佳	建築学科	200,000	190,000	人口分布と土地所有実態からみた国立公園の山岳信仰集落の特徴と課題に関する研究
	合計		1,158,365	836,000	

【教育研究特別支援経費】

①教育分野特別支援経費

ア.教育分野(学会等からの表彰)【配分:1件につき50千円】

(単位:円)

番号	氏名	職名	所属学科等	配分額	摘要
1	田中 博美	准教授	電気情報工学科	50,000	平成24年度電気・情報関連学会中国支部第63回連合大会【電気学会優秀論文発表賞】2013.2.1
	合計			50,000	

イ.教育指導等の業績【配分:1件につき50千円】

(学会等からの表彰)

番号	氏名	職名	所属学科等	配分額	摘要
1	早水 庸隆	准教授	機械工学科	50,000	日本機械学会流体工学部門「第11回流れの夢コンテスト」【優秀賞】2012.11.17(対象学生:安田直幸他)
2	早水 庸隆	准教授	機械工学科	50,000	日本機械学会中国四国学生会第43回学生会卒業研究発表講演会【優秀発表賞】2013.3.8(対象学

					生:田原功一郎)
3	青木 薫	教 授	物質工学科	50,000	第一回低温・氷温研究会【優秀賞】2013.3.2(対象学生:嘉村茅夏)
4	谷藤 尚貴	准教授	物質工学科	50,000	第9回高校化学グランドコンテスト【文部科学大臣賞】 2012.11.4(対象学生:大江ひかる 他)
5	山口 顕司	教 授	機械工学科	50,000	工作機械技術振興財団【工作機械技術振興賞・奨励賞】2012.6.12(対象学生:中澤諒一 他)
6	山口 顕司	教 授	機械工学科	50,000	精密工学会中国四国支部【優秀講演賞】 2012.10.6(対象学生:神村 大)
	合 計			300,000	

## (課外活動等)

番号	氏 名	職 名	所属学科等	配分額	摘 要
1	細田 智久	准教授	建築学科	50,000	国民体育大会 ヨット 女子 SS 級優勝
2	角田 直輝	助 教	電子制御工学科	50,000	全国高専体育大会 卓球 女子ダブルス優勝
3	浅倉 邦彦	准教授	電気情報工学科	50,000	全国高校体育大会 ボクシング出場
4	河野 清尊	教 授	電子制御工学科	50,000	全国高専プロコン 自由部門審査員特別賞
5	北農 幸生	助 教	建築学科	50,000	全国高専デザコン 構造デザイン部門最優秀賞・審査員特別賞
6	小椋 弘佳	助 教	建築学科	50,000	全国高専デザコン 環境デザイン部門優秀賞
7	谷藤 尚貴	准教授	物質工学科	50,000	高校化学グランドコンテスト 文部科学大臣賞・先端技術大賞特別賞
8	森田 慎一	教 授	機械工学科	50,000	スターリングテクノロジー 10V クーラー部門・3V クーラー部門優勝
	合 計			400,000	

## ②研究分野特別支援経費

ア. 研究分野(学会等からの表彰) 【配分:1件につき50千円】

(単位:円)

番号	氏 名	職 名	所属学科等	配分額	摘 要
1	大塚 茂	教 授	機械工学科	50,000	日本機械学会中国四国支部学生会第43回学生会員卒業研究発表講演会【優秀発表賞】2013.3.8
2	矢壁 正樹	准教授	機械工学科	50,000	工作機械技術振興財団【工作機械技術振興賞(奨励賞)】2012.6.12
3	森田 慎一	教 授	機械工学科	50,000	とっとり産業フェスティバル 2012【ポスター研究発表優秀賞】2012.10.12
4	田中 博美	准教授	電気情報工学科	50,000	International Conference of Young Researchers on Advanced Materials 2012 【ICYRAM 2012 Poster Award】2012.7.6
5	田中 博美	准教授	電気情報工学科	50,000	22nd Symposium of Materials Research Society of Japan【Award for Encouragement of Research in Materials science】2012.10.15
6	田中 博美	准教授	電気情報工学科	50,000	International Union of Materials Research Societies-International Conference on Electronic Materials【IUMRS-ICEM 2012 Silver Award of Young Scientist Award】2012.9.28
7	細田 智久	准教授	建築学科	50,000	国立高等専門学校機構【第1回高専教育論文賞】2012.8.28
	合 計			350,000	

イ. 学術論文投稿支援(掲載許可を受けた論文の掲載に要した経費) 【配分上限:1件につき50千円】

(単位:円)

番号	氏 名	職 名	所属学科等	配分額	摘 要
1	早水 庸隆	准教授	機械工学科	17,022	平成 24 年 12 月掲載 Open Journal of Fluid Dynamics
2	権田 英功	准教授	電気情報工学科	46,500	平成 24 年 10 月掲載 バイオテディカル・ファジィ・システム学会誌

3	中島美智子	准教授	教養教育科	50,000	平成 24 年 10 月掲載 「カウンターナラティブから語るアメリカ文学」
4	松岡 祐介	助 教	電気情報工学科	50,000	平成 24 年 10 月掲載 Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE
5	中川 右也	助 教	教養教育科	20,080	平成 25 年 3 月掲載 全国高等専門学校英語教育学会研究論集第 32 号
6	細田 智久	准教授	建築学科	50,000	平成 25 年 2 月掲載 日本建築学会技術報告集
	合 計			233,602	

(出典 総務課人事労務係資料)

## 資料 3 - 1 - ④ - 13 高専間教員人事交流

## 教員交流派遣者一覧

学科名	派遣者氏名	派遣先高専	派遣期間	備考
一般科目	梶川 雄二	鳥羽商船高専	2年間（平成18年4月1日～平成20年3月31日）	数学
物質工学科	岡部 勇二	都城高専	1年間（平成19年4月1日～平成20年3月31日）	
電子制御工学科	加納 尚之	松江高専	1年間（平成22年4月1日～平成23年3月31日）	
建築学科	稲田 祐二	松江高専	1年間（平成24年4月1日～平成25年3月31日）	
教養教育科	蔵岡 誉司	石川高専	2年間（平成25年4月1日～平成27年3月31日）	数学

## 教員交流受入者一覧

学科名	受入者氏名	派遣元高専	派遣期間	備考
一般科目	西垣 誠一	沼津高専	3年間（平成18年4月1日～平成21年3月31日）	数学
建築学科	松野 一成	呉高専	1年間（平成20年4月1日～平成21年3月31日）	
一般科目	能登路 純子	沼津高専	2年間（平成24年4月1日～平成26年3月31日）	英語
機械工学科	山根 清美	松江高専	1年間（平成25年4月1日～平成26年3月31日）	
物質工学科	中野 陽一	宇部高専	1年間（平成25年4月1日～平成26年3月31日）	
教養教育科	早水 英美	松江高専	2年間（平成26年4月1日～平成28年3月31日）	英語

(出典 総務課人事労務係資料)

件名: Fwd: 【照会】平成25年度教育研究活性化経費について

日付: 2013年7月24日水曜日 18時44分40秒 日本標準時

差出人: 玉井孝幸

宛先: 建築学科教員, 景山 肇, 上田 輝美

重要度: 高

建築学科の皆様

明日の科会でも話をしますが、事前に対象ファイルを転送しておきます。

玉井

財務担当補佐 <[z-hosa@yonago-k.ac.jp](mailto:z-hosa@yonago-k.ac.jp)>様からのメールを転送します。

-----ここから原文-----  
各学科長 様

いつも大変お世話になっております。

本年度の標記経費につきまして、現在予算委員会の調整等を行っているところでありますが運営会議にて、本経費の公募(申請)については了承されております。

本来ですと予算委員会の承認を得ることが条件ではありますが申請期間及び配分・執行を考慮しまして、予め照会させていただくこととなりましたので学科内への周知・取り纏め方よろしく願いいたします。

なお、本年度から「プレ科研費」についてはテクノセンターで担当することとなりましたので提出先が変更となっております。

【提出期限】

平成25年8月19日(月) 17:00まで

【提出先】

■プレ科研費  
..... 企画・社会連携係 [kikaku@yonago-k.ac.jp](mailto:kikaku@yonago-k.ac.jp)

■地域に根ざした特色ある研究経費  
■若手教員支援経費  
■教育・研究特別支援経費  
..... 総務課(財務担当) [z-hosa@yonago-k.ac.jp](mailto:z-hosa@yonago-k.ac.jp)

\*\*\*\*\*  
独立行政法人 国立高等専門学校機構  
国立米子工業高等専門学校  
総務課課長補佐(財務担当)  
清水 健一  
TEL 0859-24-5010  
FAX 0859-24-5019  
[E-mail:shimizu@yonago-k.ac.jp](mailto:E-mail:shimizu@yonago-k.ac.jp)  
\*\*\*\*\*

事務連絡  
平成 25 年 7 月 19 日

各 学 科 長 殿

校 長

教育研究活性化経費（教育・研究特別支援経費）の申請について

本校における教育研究の活性化を図るため、教育・研究分野等において、顕著な業績をあげた教員に対し、下記のとおり教育研究活性化経費として「教育・研究特別支援経費」を配分しますので、貴職所属職員の申請書を取り纏めて、平成 25 年 8 月 19 日（月）までに推薦願います。

記

1. 申請が必要な場合

- ① 教育分野特別支援経費  
学会等からの表彰（教員本人・学生）
- ② 研究分野特別支援経費  
学会等からの表彰（教員本人）

表彰対象期間は、平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月とする。

2. 配分方法

学科長を経由して申請書の提出のあった案件について運営会議において承認後、配分する。  
なお、教育指導及び教育方法の改善に関する学会等からの表彰（学生）については、代表教員 1 名につき 50 千円を配分限度とすることとされています。

3. 申請書の提出先 総務課（財務担当）

（出典 総務課財務係資料）

## 教育分野特別支援経費（学会等からの教員表彰）申請書

学 校 長 殿

学科名  
 学科長名  
 申請者

下記のとおり学会等からの表彰を受けましたので、教育分野特別支援経費を申請します。

記

表彰学会等名	
表 彰 名	
被 表 彰 者 名	
表 彰 年 月 日	
表 彰 内 容	
その他特記事項	

注 1： 上記の資料として、表彰状等がありましたら写しを添付願います。

注 2： 案件が複数ある場合には、①、②等それぞれに記号を付して、纏めて記載していただく結構です。

(出典 総務課財務係資料)

平成25年度国立高等専門学校教員顕彰実施要項

## 国立高等専門学校教員顕彰実施要項

平成22年10月19日制定  
平成23年9月30日一部改正  
理事長裁定

### 1. 顕彰要項

#### (1) 趣旨

高等専門学校教員は主として教育者の面を持つが、一方で研究者の面を持つとともに高等専門学校の管理運営にも果たすべき役割がある。また、それぞれの地域に立地する高等教育機関の教員として、教育や研究を通じた地域社会への貢献も期待されている。高等専門学校教員個々に対する業績評価は、これらを総合して行われるべきものであるが、現状においては、とすれば専門の研究業績のみが重視され、学生教育や管理運営及び地域社会への貢献に係る業績が適正に評価されていないおそれがある。このような観点から、管理運営、地域社会への貢献を含み、学生教育を中心とする分野において顕著な功績を挙げている教員を顕彰するとともに、顕彰を通じて国立高等専門学校における教育の充実及び向上を目指すものである。

#### (2) 顕彰部門

顕彰部門として、一般部門と若手部門を設ける。

#### (3) 賞

国立高等専門学校教育業績賞とし、下表の賞を設ける。

賞の名称	受賞対象者	受賞者数
文部科学大臣賞	両顕彰部門を通じて、最も優秀な業績を挙げている教員	両顕彰部門を通じて1名
国立高等専門学校機構理事長賞	各顕彰部門において、文部科学大臣賞に次ぐ業績を挙げている教員	各顕彰部門から若干名
優秀賞	各顕彰部門において、国立高等専門学校機構理事長賞に次ぐ業績を挙げている教員	各顕彰部門から若干名
分野別優秀賞	各顕彰部門において、教育活動、学生生活指導、教育・研究を通じた社会への貢献の各分野で特に優れた業績を上げている教員	各顕彰部門から若干名

(出典 総務課人事労務係資料)

## 資料 3 - 2 - ① - 3

## 平成25年度国立高等専門学校教員顕彰受賞者一覧

## ○文部科学大臣賞(1名)

高専名 (キャンパス名)	学科名	役職	氏名	顕彰題目	備考
佐世保工業高等専門学校	電気電子工学科	教授	川崎 仁晴	最先端技術習得に基づく異文化・異世代交流力の涵養	一般部門

## ○国立高等専門学校機構理事長賞(8名)

高専名 (キャンパス名)	学科名	役職	氏名	顕彰題目	備考
岐阜工業高等専門学校	電気情報工学科	教授	所 哲郎	高専教育の高度化と自立的地域貢献の推進	一般部門
豊田工業高等専門学校	情報工学科	教授	稲垣 宏	地域連携ものづくり教育と教育の質保証活動への貢献	
奈良工業高等専門学校	物質化学工学科	教授	片倉 勝己	多角的な広報・国際戦略によるグローバル人材の育成	
大島商船高等専門学校	商船学科	教授	辻 啓介	入試広報と商船学科複数校志望受験制度への貢献	若手部門
福井工業高等専門学校	環境都市工学科	准教授	辻野 和彦	防災を基軸とした教育・研究・社会貢献活動の展開	
大島商船高等専門学校	情報工学科	准教授	北風 裕敏	地域社会活動を取り入れた実践的教育と社会貢献	
有明工業高等専門学校	機械工学科	准教授	坪根 弘明	専攻科生と協働した次世代科学者育成への取組	
北九州工業高等専門学校	物質化学工学科	准教授	小畑 賢次	低学年からの国際社会で活躍する技術者の育成	

## ○優秀賞(6名)

高専名 (キャンパス名)	学科名	役職	氏名	顕彰題目	備考
広島商船高等専門学校	商船学科	教授	水井 真治	本校の戦略的広報活動と教育研究を通じた社会貢献	一般部門
宇部工業高等専門学校	制御情報工学科	准教授	田辺 誠	外部に開かれた実践的な情報教育を通じた技術者育成	
高知工業高等専門学校	電気情報工学科	教授	今井 一雅	無線LAN情報端末による次世代ICT活用教育の取り組み	
福島工業高等専門学校	物質工学科	准教授	羽切 正英	学生との協働による魅力的な化学教育コンテンツの創造と地域貢献	若手部門
米子工業高等専門学校	電気情報工学科	准教授	田中 博美	上級生チューター制度を中核とする教育・研究活動の試み	
津山工業高等専門学校	電子制御工学科	准教授	谷口 浩成	研究活動を通じた創造的自律型技術者の育成	

## ○分野別優秀賞(6名)

高専名 (キャンパス名)	学科名	役職	氏名	顕彰題目	備考
仙台高等専門学校(広瀬)	知能ソフトウェア工学科	教授	藤木なほみ	真摯な学生支援と国際交流推進への貢献	一般部門 教育活動分野
香川高等専門学校(高松)	一般教育	准教授	中瀬巳紀生	バレーボールを通じた学生指導と地域貢献	一般部門 学生生活指導分野
東京工業高等専門学校	一般教育科	教授	浅野 敬一	地域と連携した社会実装イノベーション教育	一般部門 教育・研究を通じた社会 貢献分野
仙台高等専門学校(名取)	電気システム工学科	助教	佐藤 拓	高専初となる企業との人事交流での功績	若手部門 教育活動分野
高知工業高等専門学校	環境都市デザイン工学科	准教授	岡田 将治	防災をキーワードとした研究・学生教育の実践による地域社会への貢献	若手部門 学生生活指導分野
奈良工業高等専門学校	機械工学科	准教授	谷口 幸典	「サイエンスカフェ」による学生の自己実現	若手部門 教育・研究を通じた社会 貢献分野

(出典 総務課人事労務係資料)

## 資料 3 - 2 - ① - 4 授業評価アンケート 教務主事報告

## 運営会議議事要旨 (抜粋)

- 1 日 時 平成26年3月5日(水) 9:30~12:10
- 2 出席者 校長, 校長補佐(企画), 校長補佐(国際交流), 校長補佐(教務), 校長補佐(学生), 校長補佐(寮務), 校長補佐(専攻科), 地域共同テクノセンター長, 事務部長, 総務課長, 学生課長

## 3 議事要旨

## 【審議事項】

## (1) 平成26年度設備整備マスタープランについて

総務課長から、資料1(平成26年度設備整備マスタープラン導入希望設備(更新・新規)の評価(案)等)に基づき、2月19日に開催されたインフラ整備検討委員会で認められたマスタープラン導入希望設備の評価案について提案があり、審議の結果承認された。

## (2) 3Dプリンタ拠点整備による支援事業の公募について

地域共同テクノセンター長から、資料2(3Dプリンタ拠点整備事業への応募について等)に基づき、経済産業省の3Dプリンタ拠点整備事業の概要・スケジュール等の説明があり、続いて本校の対応について提案があり、審議の結果承認され、今後仕様策定等の準備を進めることとなった。

## (3) 米子工業高等専門学校学則等の一部改正について

学生課長から、資料3(米子工業高等専門学校学則新旧対応表等)に基づき、6月と9月の運営会議で認められた本科・専攻科のカリキュラム改訂、学生心得の学生服変更に関する改正等及び高専以外の教育施設等における学修等に関する規則において対象となる試験等の種類の追加について説明があり、審議の結果承認された。なお、専攻科のカリキュラム改訂について、このあと専攻科委員会で報告するよう指示があった。

## (4) 平成26年度非常勤講師の任用について

校長補佐(教務)から、資料4(平成26年度非常勤講師の任用について(新規)等)に基づき、平成26年度の新規任用及び継続任用の非常勤講師について説明があり、審議の結果承認された。

なお、審議の参考として、平成25年度授業評価アンケート結果について、評価項目の平均点が2.5点以下の教員はいなかったと報告された。今後2.5点以下の場合には個別に指導する旨も報告された。

## (5) 米子工業高等専門学校入学料の免除及び徴収猶予に関する規則等の改正について

学生課長から、資料5(米子工業高等専門学校入学料の免除及び徴収猶予に関する規則新旧対照表等)に基づき、入学料の免除及び徴収猶予に関する規則、入学料徴収猶予選考基準及び授業料免除選考基準の機構規則の改正に伴う改正等について説明があり、審議の結果承認された。

## 【報告事項】

## (1) 平成26年度校務分掌について

校長から、資料7(平成26年度校務分掌)に基づき、学級担任・主事補等の内示があった。

## (2) 平成25年度年度計画実績報告書及び平成26年度年度計画の作成について

校長補佐(企画)から、資料8(平成25年度年度計画実績報告書及び平成26年度年度計画の作成について)に基づき、今後のスケジュールについて連絡があった。なお、各部署において点検を行い、実績を報告してほしい旨依頼があった。

## (3) J A B E E 中間受審について

校長補佐(専攻科)から、資料9(技術者教育プログラム中間審査申請書等)に基づき、J A B E E 中間審査の受審にかかる申請等について報告があった。

## 【その他】

## (1) 今後の行事予定について

総務課長から、資料10(行事予定表)に基づき、今後の行事予定について確認があった。

## (2) 教員会議の議題について

総務課長から、教員会議資料に基づき、本日開催の教員会議について議題の確認があった。

(出典 平成26年3月5日運営会議議事要旨)

**件名:** 授業評価アンケートについて  
**日付:** 2014年3月20日木曜日 14時06分29秒 日本標準時  
**差出人:** Atsushi Takenaka  
**宛先:** 全教員  
**CC:** 教務・キャリア支援係, 総務担当補佐

教員各位：

本年度の学生による授業評価アンケートについて、個人別の結果が校内HPの  
教務・キャリア支援係>授業関係>授業評価アンケート入力ページ  
に掲載されております。

そこには学生からの要望を記したフリーワードも掲載されている場合もございますので、  
コメント欄に適宜ご記入いただき、来年度の授業改善にお役立ていただきたいと思いま  
す。

よろしく申し上げます。

教務主事 竹中

■米子高専アンケートシステム

アンケート結果表示

建築学科 4学年 都市計画 I 後期

アンケート結果

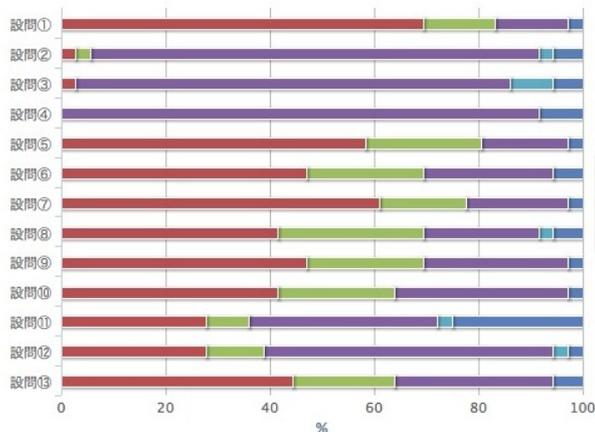
授業コード	学科名	学年	科目名	担当教員	専門・一般	形式	実施者数
A0171	A	4	都市計画I		専門	形式1	36

設問	回答数					
	1	2	3	4	5	計
設問①	25	5	5	0	1	36
設問②	1	1	31	1	2	36
設問③	1	0	30	3	2	36
設問④	0	0	33	0	3	36
設問⑤	21	8	6	0	1	36
設問⑥	17	8	9	0	2	36
設問⑦	22	6	7	0	1	36
設問⑧	15	10	8	1	2	36
設問⑨	17	8	10	0	1	36
設問⑩	15	8	12	0	1	36
設問⑪	10	3	13	1	9	36
設問⑫	10	4	20	1	1	36
設問⑬	16	7	11	0	2	36

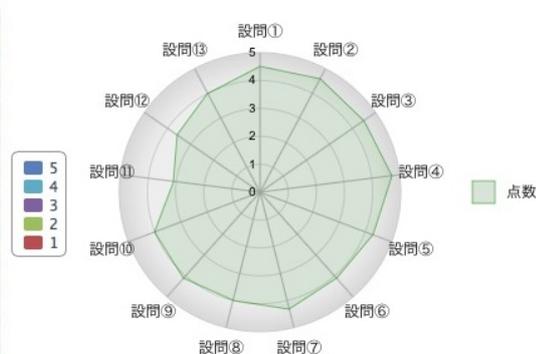
設問	割合 (%)					点数
	1	2	3	4	5	
設問①	69.4	13.9	13.9	0.0	2.8	4.5
設問②	2.8	2.8	86.1	2.8	5.6	4.6
設問③	2.8	0.0	83.3	8.3	5.6	4.5
設問④	0.0	0.0	91.7	0.0	8.3	4.7
設問⑤	58.3	22.2	16.7	0.0	2.8	4.3
設問⑥	47.2	22.2	25.0	0.0	5.6	4.1
設問⑦	61.1	16.7	19.4	0.0	2.8	4.3
設問⑧	41.7	27.8	22.2	2.8	5.6	4.0
設問⑨	47.2	22.2	27.8	0.0	2.8	4.1
設問⑩	41.7	22.2	33.3	0.0	2.8	4.0
設問⑪	27.8	8.3	36.1	2.8	25.0	3.1
設問⑫	27.8	11.1	55.6	2.8	2.8	3.6
設問⑬	44.4	19.4	30.6	0.0	5.6	4.0

小計：39.1

都市計画I 4年 A科



都市計画I 4年 A科



アンケート設問

授業に関するアンケート（講義科目用）

(1)全体として

1. この授業はあなたの将来のために役に立つと思いますか

役立つと思う	少しは役立つと思う	どちらとも言えない	あまり役立たないと思う	役立たないと思う
--------	-----------	-----------	-------------	----------

(2) 授業内容

## 2. 授業の難易度はどうでしたか

やさしい	少しやさしい	適切	少し難しい	難しい
------	--------	----	-------	-----

## 3. 授業内容の量はどうでしたか

少ない	少し少ない	適切	少し多い	多い
-----	-------	----	------	----

## 4. 授業の進み具合はどうでしたか

遅い	少し遅い	適切	少し早い	早い
----	------	----	------	----

## (3) 授業方法

## 5. 教員の教え方はどうでしたか

分かりやすい	比較的分かりやすい	どちらとも言えない	少し分かりにくい	分かりにくい
--------	-----------	-----------	----------	--------

## 6. 使用した教科書・プリントは適切でしたか

適切	比較的適切	どちらとも言えない	やや不適切	不適切
----	-------	-----------	-------	-----

## 7. 教員の話し方は明瞭ではっきり聞き取れましたか

分かりやすい	比較的聞き取れる	どちらとも言えない	やや聞き取れない	聞き取れない
--------	----------	-----------	----------	--------

## 8. 黒板などで文字・図表の書き方は分かりやすかったですか

分かりやすい	比較的分かりやすい	どちらとも言えない	少し分かりにくい	分かりにくい
--------	-----------	-----------	----------	--------

## 9. ノートに書き写すための時間は適切でしたか

適切	比較的適切	どちらとも言えない	やや不適切	不適切
----	-------	-----------	-------	-----

## (4) あなたの取り組み方

## 10. 授業は熱心に取り組みましたか

取り組んだ	比較的取り組んだ	どちらとも言えない	あまり取り組まなかった	取り組まなかった
-------	----------	-----------	-------------	----------

## 11. シラバスは利用しましたか

した	比較的した	どちらとも言えない	あまりしなかった	しなかった
----	-------	-----------	----------	-------

## 12. シラバスに書いてある目標は達成しましたか

した	比較的した	どちらとも言えない	あまりしなかった	しなかった
----	-------	-----------	----------	-------

## 13. 成績の評価方法を知っていましたか

知っていた	比較的知っていた	どちらとも言えない	あまり知らなかった	知らなかった
-------	----------	-----------	-----------	--------

## コメント1

授業評価としては、十分な評価を得ているため、今後も最新の都市計画事例などの紹介も行いながら、理解しやすい授業を目指す。シラバスの説明、達成目標の説明を徹底する。

[閉じる]

平成24年度新任教員フォローアップ懇談会議事概要

日時：平成25年3月21日（木）10時30分～11時55分

場所：大会議室

参加者：小田副校長，森田学生主事，河野寮務主事  
角田直輝助教，伊達勇介助教，小林玉青講師，堀畑佳宏助教

欠席者：松原教務主事（学会出席のため）  
村田和加恵助教（大阪市立大での研修のため）  
藤井貴敏助手（本人の修了式出席のため）

1. 校務について

○主事補等の分掌

- 学校に早く慣れたいので，3年間校務なしといわずに経験してみたい。  
→ 希望者だけにしてはどうか。
- 任に就いた教員と任に就かない教員がいると，同じ合同教員室の教員としてやり難い面がある。  
→ 今後，運営会議等で検討する。

（後略）

（出典 平成25年3月21日 平成24年度新任教員フォローアップ懇談会議事録）

米子工業高等専門学校教員選考委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、米子工業高等専門学校教員選考規則第4条第2項の規定に基づき、米子工業高等専門学校教員選考委員会(以下「委員会」という。)に関する事項について定める。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 校長補佐(教務)
- (2) 校長補佐(教務)以外の校長補佐 1名
- (3) 選考を行う必要がある学科又は教養教育科(以下「学科等」という。)の長
- (4) 選考を行う必要がある学科等の長以外の学科等の長 1名
- (5) 選考を行う必要がある学科等の教授 1名
- (6) 選考を行う必要がある学科等以外の教授 1名
- (7) その他校長が必要と認めた者

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、校長補佐(教務)をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(委員以外の者からの意見聴取)

第4条 委員会は、必要に応じて委員以外の者から意見を聴取することができる。

(任務)

第5条 委員会は、昇任及び配置換の場合は選考対象候補者の資格審査を行い、公募の場合は応募者の中から候補者を選定する。

(選考基準)

第6条 前条の選考は、別に定める米子工業高等専門学校教員選考基準に基づいて行うものとする。

(結果の報告)

第7条 委員会は、第5条の審査の結果又は選定した候補者を校長に報告する。

(事務)

第8条 委員会の事務は、総務課において処理する。

(出典 規則集)

## 教員の採用に関する教員選考委員会の招集メール

Subject: 【重要】電子制御工学科教員の採用に係る選考委員会について(通知)

平成25年12月18日

選考委員会委員 各位

総務課人事労務係

電子制御工学科教員の採用に係る選考委員会  
について(通知)このことについて、第1次選考(書類審査)を下記のとおり実施しますので、  
出席方よろしく願います。

記

## 1. 審査日時・場所

○ 第1次審査  
平成25年12月24日(水)10:00～・

小会議室

○ 第2次審査  
第1次審査終了後・

校長室

## 2. 選考委員会委員

校長補佐(教務)

竹中 敦司

校長補佐(国際交流)	香川 律
当該学科長	山本 英樹
当該学科以外の学科長	森田 慎一(M科)
当該学科の教授	(香川 律)
〃 以外の教授	中井 大造(G科)

## 3. 採用予定職名及び人数 助教 1名

## 4. 応募書類提出者 2名

\*\*\*\*\*

総務課人事労務係 角田真理

内線:5006

E-mail: [iinji@yonago-k.ac.jp](mailto:iinji@yonago-k.ac.jp)

\*\*\*\*\*

(出典 総務課人事労務係招集メール)

教員の採用に関する教員選考委員会の招集メール（面接審査の実施）

Subject: 【重要】電子制御工学科教員の採用に係る面接審査について(通知)

平成26年 1月15日

選考委員会委員 各位

総務課人事労務係  
電子制御工学科教員の採用に係る第二次選考  
(面接審査)について(通知)

このことについて、教員の採用に係る二次審査(面接審査)を下記のとおり実施しますので、出席方よろしくお願いたします。

1. 審査日時 平成26年1月24日(金)13時00分～

2. 場 所 講義室3

3. 選考委員 校長 齊藤 正美  
校長補佐(教務) 竹中 敦司

校長補佐(国際交流) 香川 律  
当該学科長 山本 英樹  
当該学科以外の学科長 森田 慎一(M科)  
当該学科の教授 (香川 律)  
"以外の教授 中井 大造(C科)

4. 審査内容 面接及び模擬授業  
※ 内容は添付ファイルにて送付いたしますので  
ご確認ください

5. 審査対象者 2名

〈添付ファイル〉

05-4 面接質問事項(電子).doc

05-6 模擬授業のテーマ.doc

【資料】公正な採用選考について.doc ← 面接時の注意事項です。

※ 審査に関する書類等は人事労務係で準備いたします。

\*\*\*\*\*  
総務課人事労務係 角田真理  
内線: 5006  
E-mail: [jinji@yonago-k.ac.jp](mailto:jinji@yonago-k.ac.jp)  
\*\*\*\*\*

05-6 模擬授業のテーマ.doc

内容: 面接および模擬授業

- ・ 模擬授業は材料力学に関する下記テーマについて行う。
- ・ 模擬授業の時間は15分間とし、電子制御工学科4年生に対する授業を想定し、選考委員の前で説明する。
- ・ OHP、プロジェクター等については使用不可とし、黒板のみを使用して行うこと。
- ・ 授業と同様、説明の補助資料 A4 用紙 1 枚以内を配布することができるものとする。なお、資料を配布したとしても、必ず板書を伴う授業を行うこと。

【模擬授業テーマ】

下記の例題を用いて、はりのたわみに関する説明を行ってください。

「下図の片持ちはりの自由端 B に集中荷重 W が作用するとき、自由端 B におけるはりのたわみ角とたわみを求めよ。」

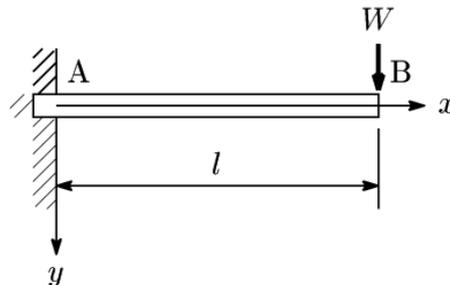


図 片持ちはり

(出典 総務課人事労務係招集メール)

## 教員の昇任に関する教員選考委員会の招集メール等

Subject: 教員の昇任に係る選考委員会(資格審査)の開催について(通知)

平成26年 2月28日

選考委員会委員 各位

総務課人事労務係

教員の昇任に係る選考委員会(資格審査)の  
開催について(通知)このことについて、教員の昇任に係る資格審査を下記のとおり  
実施しますので、出席方よろしくお願いいたします。

記

1. 日 時 平成26年3月10日(月)10時00分～
2. 場 所 校長室
3. 選考委員 校長 齊藤 正美  
校長補佐(教務) 竹中 敦司  
校長補佐(学生) 森田 典幸  
当該学科長 森田 慎一  
当該学科以外の学科長 松本 正己(E科)  
当該学科の教授 大塚 茂  
" 以外の教授 玉井 孝幸(A科)
4. 審査対象者 (教授昇任) 機械工学科 准教授 ○○○○  
(准教授昇任) " 講師 ○○○○

※ 審査に関する書類等は人事労務係で準備いたします。

\*\*\*\*\*  
 総務課人事労務係 角田真理  
 内線: 5006  
 E-mail: [jinii@yonago-k.ac.jp](mailto:jinii@yonago-k.ac.jp)  
 \*\*\*\*\*

(出典 総務課人事労務係招集メール)

非常勤講師 任用に係る原議

米子工業高等専門学校原議書

緊急  
付せん

文書記号 番号	米高専第 号	添付物： 有 無	標識： 秘 普通		
施行： 年 月 日		施行注意	発送	完結	
決裁： 25年 7月 11日			月 日	月 日	
件名： 平成25年度非常勤講師の任用について					
このことについて のとおりに してよろしいか伺います。					
起案：平成25年 7月11日			起案者： 総務課人事労務係 		
校 長	事務部長	総務課長	総務課課長補佐 (総務担当)	人事労務係長	人事労務係
					
合議 校長補佐(教務)  校長補佐(事務)  物質工学科長 					
摘要 ※ 本来ならば選考委員会を開催し選考を行うが、今年度任用している講師であり、以前本校において担当していた業績あるため、この決裁をもって、選考し承認するものとする。(教務の病欠明けにより緊急に承認)					
決裁後、選考会議において報告する。 (25年7月11日)					

(出典 総務課人事労務係資料)

非常勤講師 任用に係る原議

《非常勤講師雇用の理由書》

平成25年7月10日

米子工業高等専門学校長 殿

物質工学科長 小田耕平

担当講義科目

物質工学科 第1学年 生物 通年2単位

物質工学科 第5学年 分子生物学 前期2単位(選択科目)

物質工学科 第5学年 細胞工学 前期1単位(選択科目)

担当者：亀山道宏 氏

担当授業日 別紙

非常勤講師を務めて頂く亀山氏は、鳥取大学医学部生命科学科を平成8年にご卒業後、鳥取大学大学院医学系研究科生命科学系専攻博士前期課程を平成10年に修了され、その後同大学院博士後期課程を平成13年に修了されました。それと同時に博士(生命科学)の学位を取得されておられます。その後、鳥取大学医学部非常勤講師、本校一般科目非常勤講師(生物、化学)、米子松陰高校非常勤講師を務められ、現在本校教養教育科の非常勤講師(物理)を担当されておられます。以上のとおり、同氏の経歴および教育能力は、講義をご担当いただくに相応しいものと考えておりますので、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

(出典 総務課人事労務係資料)

## 非常勤講師 任用に係る業績説明書（教育業績の記載例）

平成26年 1月15日

米子工業高等専門学校  
校長 齊藤 正美 殿

教養教育科  
科長 竹内 彰継 

## 非常勤講師の職務上の業績について

担当講義科目	：	3年生国語Ⅲ（2単位）	週2時間
		4年生文学Ⅰ（2単位）	週2時間(前期)
		4年生文学Ⅲ（2単位）	週2時間(後期)

担当者

：



中永廣樹氏は、昭和50年慶応義塾大学大学院文学研究科修士課程を修了後、同年より鳥取県立高等学校常勤講師、昭和51年から教諭として、国語教育に携わってこられました。ご専門の平安文学を中心とした古典教育はもとより国語全般にわたって熱心に指導され、校務分掌では教育相談を長く務められています。平成2年からは鳥取県教育委員会指導課の指導主事、平成8年には管理主事、平成11年には指導係長になられ、平成13年には鳥取県立米子東高校の教頭に就任されました。平成15年には鳥取県教育委員会高等学校課長、平成17年4月には教育次長、同年7月には教育長になられ、平成22年に退任されるまで職務を全うされました。

上記の業績を鑑み、本校国語科の授業を担当していただくのに、十分な専門知識、並びに教育能力を有する方と判断いたします。

(出典 総務課人事労務係資料)

資料3-3-①-1

平成26年度 事務職員・技術職員配置表

		課長	課長補佐	専門職員	係長	主任	係員	司書	看護師	計
総務課	課長・課長補佐	1	2							3
	総務係				1		1			2
	人事労務係				1		1			2
	企画・社会連携係				1		1			2
	財務係				1	2	2			5
	契約係				1	1				2
	施設係					2				2
学生課	課長・専門員	1								1
	教務・キャリア支援係				1		2			3
	学生係				1	1	2		1	5
	寮務係				1					1
	学術情報係				1		1			2

		技術専門員	技術専門職員	技術職員	計
技術教育 支援センター	技術長	1	0	0	1
	第一技術班	1	5	1	7
	第二技術班	1	2	2	5

(出典 総務課人事労務係資料)

平成26年度組織図

Organization

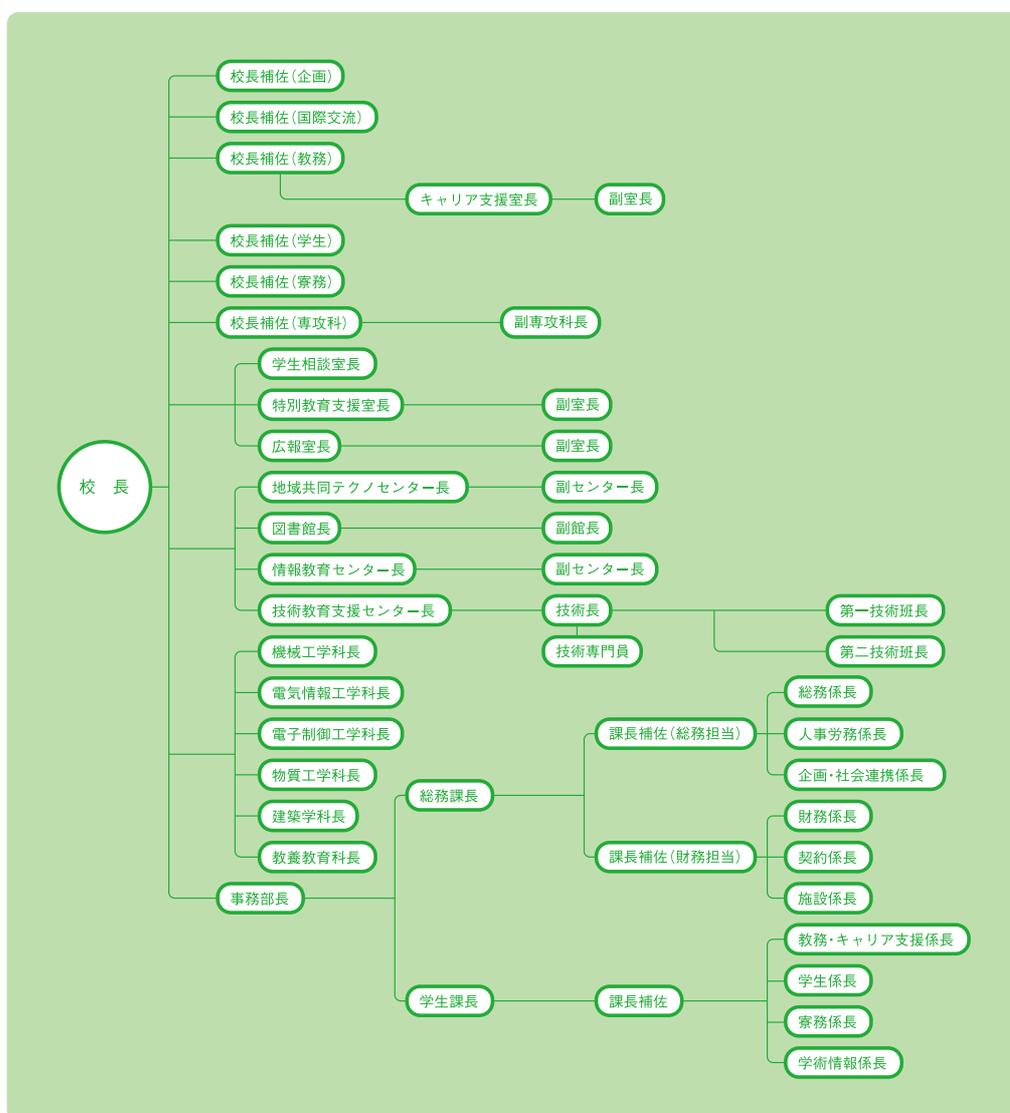
# 03 組織

## 1 教職員現員

平成26年5月1日現在

区分	教 員						職 員	合 計
	校 長	教 授	准教授	講 師	助 教	計		
教職員	1	33	21	5	16	76	44	120

## 2 組織図



組織

(出典 平成26年度学校要覧 P. 13)

## ○米子工業高等専門学校事務部組織規則（抜粋）

（趣旨）

第 1 条 この規則は、独立行政法人国立高等専門学校機構の本部事務局の組織等に関する規則（平成 16 年 4 月 1 日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第 4 号）第 10 条第 3 項及び米子工業高等専門学校学則第 11 条の規定に基づき、事務部の組織及びその所掌事務を定める。

（中略）

第 9 条 学生課の事務を次のとおり分掌する。

2 課長補佐は、次の事務をつかさどる。

- (1) 学生課長を補佐し、学生課の業務を整理・調整すること。
- (2) 専攻科に関すること。
- (3) 学生募集に係る広報に関すること。
- (4) J A B E E に関すること。
- (5) 学生課に係る事務のうち、重要な調査、企画及び連絡調整に関すること。

3 教務・キャリア支援係においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 入学者の選抜に関すること。
- (2) 学生募集（広報を除く。）に関すること。
- (3) 学生の修学指導に関すること。
- (4) 教育課程の編成及び授業に関すること。
- (5) 学生の学業成績の整理及び記録に関すること。
- (6) 学生の学籍に関すること。
- (7) 学生の課外教育に関すること。
- (8) 外国人留学生に関すること。
- (9) インターンシップに関すること。
- (10) 就職及び進学に関すること。
- (11) 校外研修及び工場見学旅行に関すること。
- (12) その他教務・キャリア支援に関すること。
- (13) この課の所掌事務のうち他の係に属しない事務を処理すること。

4 学生係においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 学生及び学生団体の指導監督に関すること。
- (2) 学生に対する奨学金、授業料の減免、猶予及び経済援助に関すること。
- (3) 学生の厚生施設の管理運営及び厚生事業に関すること。
- (4) 学生の保健管理及び保健施設の管理運営に関すること。
- (5) 学生旅客運賃割引証に関すること。
- (6) 学生の災害共済給付に関すること。
- (7) 学生相談室に関すること。
- (8) 特別支援教育に関すること。
- (9) その他学生補導に関すること。

5 寮務係においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 学生寮の管理運営に関すること。
- (2) 学生の入退寮に関すること。
- (3) 寮生の指導監督に関すること。
- (4) その他寮務に関すること。

6 学術情報係においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 図書館資料の受入れ並びに整理及び保存等に関すること。
- (2) 図書館資料の閲覧、貸出等利用に関すること。
- (3) 図書館における参考奉仕（検索指導、読書相談等）に関すること。
- (4) 文献複写に関すること。
- (5) 図書館情報センターの業務のうち情報教育及び校内情報ネットワークに関すること。
- (6) その他図書館情報センターの事務に関すること。

（雑則）

第 10 条 この規則に定めるもののほか、事務組織に関する必要な事項は、別に定める。

（出典 規則集）

## 14. 諸手続一覧

種 類	提出時期	提出先	備 考
休 学 願	その都度	教務・キャリア支援係	学級担任又は指導教員を經由
復 学 願	〃	〃	〃
退 学 願	〃	〃	〃
学 生 証 再 交 付 願	〃	〃	〃
忌 引 願	〃	〃	〃
特別欠席（欠課）願	〃	〃	〃
欠 席 （ 欠 課 ） 届	〃	〃	〃
保 証 人 変 更 届	〃	〃	〃
身 上 異 動 届	〃	〃	〃
住 所 届	〃	〃	〃
住 所 変 更 届	〃	〃	〃
居 残 届	〃	専 用 ア ド レ ス	学級担任又は指導教員を經由 ※1を参照
時 間 外 使 用 届	〃	学 生 係	〃
学 生 団 体 結 成 願	〃	〃	〃
校 外 団 体 参 加 願	〃	〃	〃
対 外 試 合 参 加 許 可 願	〃	〃	〃
校 外 催 物 参 加 願	〃	〃	〃
集 会 等 許 可 願	〃	〃	〃
印 刷 物 発 行 （ 販 売 ） 許 可 願	〃	〃	〃
掲 示 許 可 願	〃	〃	〃
車 両 通 学 許 可 願	〃	〃	学級担任を經由
施 設 ・ 設 備 使 用 許 可 願	〃	〃	学級担任又は指導教員を經由
ア ル バ イ ト 許 可 願	〃	〃	学級担任を經由
喫 煙 許 可 願	〃	〃	〃
合 宿 ・ 強 化 練 習 願	〃	〃	指導教員を經由
下 宿 届	〃	〃	学級担任を經由
下 宿 変 更 届	〃	〃	〃
学 生 行 動 届	〃	〃	〃
対 外 試 合 結 果 報 告 書	〃	〃	指導教員を經由
校 外 催 物 参 加 報 告 書	〃	〃	〃
災 害 報 告 書	〃	学 級 担 任	〃
入 寮 願	学年当初	寮 務 係	学級担任を經由
退 寮 願	その都度	〃	〃

## 平成25年度FD関係(25年8月1日現在予定分)

- (1) 校外研修会参加予定
- ・平成25年度中国地区国立高等専門学校技術職員研修  
場所：津山高専 期日：平成25年8月19日～8月20日
  - 森、松本、大谷参加予定
  - ・平成25年度西日本地域国立工業高等専門学校技術職員特別研修会(機械系)  
場所：豊橋技科大学 期日：平成25年8月21日～8月23日
  - 横田参加予定
  - ・平成25年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会  
場所・鳥取大学医学部 期日：平成25年8月22日～8月23日
  - 大谷、谷本、上田、岡部参加予定
  - ・平成25年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修(機械、生物・生命分野)  
場所：香川大学 期日：平成25年8月28日～8月30日
  - 岸、山脇参加予定
  - ・情報技術研究会  
場所・鳥取大学医学部 期日：平成25年8月29日～8月30日
  - 加納参加予定

- (2) センター内FD開催予定
- ・校内研修 平成26年3月
  - ・科学研究費補助金(奨励研究)応募申請勉強会 時期未定
  - (3) 科学研究費補助金(奨励研究)応募申請の推進
  - ・平成25年度科学研究費補助金(奨励研究) 採択1件/応募9件
  - 「廃ガラスの高度化利用を目指した学生実験の取り組みに関する研究」 上田輝美
  - ・科学研究費補助金(奨励研究)応募申請勉強会の実施
  - (4) 学会、研究会、セミナー等参加予定
  - ・平成25年度鳥取大学機器・分析技術研究会
  - ・平成25年度実験・実習技術研究会inイーハトーブいわて
  - (5) 資格試験受験予定
  - ・技能士(普通旋盤作業2級) 森 智広
  - ・技能士(フライス盤作業2級) 岸 悠
  - ・第二種電気工事士 松本 充
  - ・甲種危険物取扱者[安全衛生関係] 日野英吉

(出典 技術教育支援センター資料)

## 司書資格取得証明書

文学部 日本語日本文学科

1984年10月25日生

(学籍番号 10311073)

上記の者は、本学において図書館法  
第5条の規定により図書館司書資格の  
単位を修得したことを証明する

平成19年3月31日

甲南大学長 杉村芳美 

(出典 総務課人事労務係)